

シラバスを参照したい科目をクリックしてください。



タイトル	開講所属	時間割コード	授業科目名			主担当 教員	対象年次	学期	曜日・ 校時	開講期間	
2014年度 シラバス (教養教育科目)	教養教育-教養教育 英語科目	20140590009001	●総合英語 I (M5)	和	E	評	池田俊也	1年,2年,3年,4年	前期	金 4	～
2014年度 シラバス (教養教育科目)	教養教育-教養教育 英語科目	20140590009002	●総合英語 I (T4)	和	E	評	稲富百合子	1年,2年,3年,4年	前期	水 2	～
2014年度 シラバス (教養教育科目)	教養教育-教養教育 英語科目	20140590009003	●総合英語 I (P2)	和	E		光野百代	1年,2年,3年,4年	前期	月 3	～
2014年度 シラバス (教養教育科目)	教養教育-教養教育 英語科目	20140590009004	●総合英語 I (L6)	和	E		稲田俊明	1年,2年,3年,4年	前期	火 3	～
2014年度 シラバス (教養教育科目)	教養教育-教養教育 英語科目	20140590009005	●総合英語 I (T5)	和	E		光野百代	1年,2年,3年,4年	前期	水 2	～
2014年度 シラバス (教養教育科目)	教養教育-教養教育 英語科目	20140590009006	●総合英語 I (L1)	和	E		光野百代	1年,2年,3年,4年	前期	水 4	～
2014年度 シラバス (教養教育科目)	教養教育-教養教育 英語科目	20140590009007	●総合英語 I (K3)	和	E		小笠原真司	1年,2年,3年,4年	前期	水 2	～
2014年度 シラバス (教養教育科目)	教養教育-教養教育 英語科目	20140590009008	●総合英語 I (P1)	和	E	評	稲田俊明	1年,2年,3年,4年	前期	水 3	～
2014年度 シラバス (教養教育科目)	教養教育-教養教育 英語科目	20140590009009	●総合英語 I (M3)	和	E	評	光野百代	1年,2年,3年,4年	前期	木 4	～
2014年度 シラバス (教養教育科目)	教養教育-教養教育 英語科目	20140590009010	●総合英語 I (E5)	和	E		稲富百合子	1年,2年,3年,4年	前期	水 1	～
2014年度 シラバス (教養教育科目)	教養教育-教養教育 英語科目	20140590009011	●総合英語 I (L5)	和	E	評	稲毛逸郎	1年,2年,3年,4年	前期	火 3	～
2014年度	教養教						宇佐				

シラバス一覧

シラバス (教養教育科目)	育・教養教育 英語科目	20140590009012	●総合英語Ⅰ(T7)	和	E	評	美子 康子	1年,2年,3年,4年	前期	金3	～
2014年度 シラバス (教養教育科目)	教養教育・教養教育 英語科目	20140590009013	●総合英語Ⅰ(M6)	和	E	評	宇佐美子 康子	1年,2年,3年,4年	前期	金4	～
2014年度 シラバス (教養教育科目)	教養教育・教養教育 英語科目	20140590009014	●総合英語Ⅰ(G1)	和	E		奥田阿子	1年,2年,3年,4年	前期	火3	～
2014年度 シラバス (教養教育科目)	教養教育・教養教育 英語科目	20140590009015	●総合英語Ⅰ(T2)	和	E		奥田阿子	1年,2年,3年,4年	前期	木3	～
2014年度 シラバス (教養教育科目)	教養教育・教養教育 英語科目	20140590009016	●総合英語Ⅰ(T6)	和	E	評	加島巧	1年,2年,3年,4年	前期	水2	～
2014年度 シラバス (教養教育科目)	教養教育・教養教育 英語科目	20140590009017	●総合英語Ⅰ(E1)	和	E		加島巧	1年,2年,3年,4年	前期	水3	～
2014年度 シラバス (教養教育科目)	教養教育・教養教育 英語科目	20140590009018	●総合英語Ⅰ(E6)	和	E	評	吉村宗司	1年,2年,3年,4年	前期	火3	～
2014年度 シラバス (教養教育科目)	教養教育・教養教育 英語科目	20140590009019	●総合英語Ⅰ(F3)	和	E		隈上麻衣	1年,2年,3年,4年	前期	月4	～
2014年度 シラバス (教養教育科目)	教養教育・教養教育 英語科目	20140590009020	●総合英語Ⅰ(E2)	和	E		隈上麻衣	1年,2年,3年,4年	前期	水3	～
2014年度 シラバス (教養教育科目)	教養教育・教養教育 英語科目	20140590009021	●総合英語Ⅰ(L4)	和	E		古場なおみ	1年,2年,3年,4年	前期	水4	～
2014年度 シラバス (教養教育科目)	教養教育・教養教育 英語科目	20140590009022	●総合英語Ⅰ(L3)	和	E	評	小笠原真司	1年,2年,3年,4年	前期	月4	～
2014年度 シラバス (教養教育科目)	教養教育・教養教育 英語科目	20140590009023	●総合英語Ⅰ(M2)	和	E		小笠原真司	1年,2年,3年,4年	前期	木4	～
2014年度 シラバス (教養教育科目)	教養教育・教養教育 英語科目	20140590009024	●総合英語Ⅰ(F1)	和	E		西原俊明	1年,2年,3年,4年	前期	月4	～
2014年度 シラバス (教養教育科目)	教養教育・教養教育 英語科目	20140590009025	●総合英語Ⅰ(G2)	和	E	評	西原俊明	1年,2年,3年,4年	前期	火3	～
2014年度 シラバス (教養教育科目)	教養教育・教養教育 英語科目	20140590009026	●総合英語Ⅰ(L2)	和	E		西原俊明	1年,2年,3年,4年	前期	水4	～



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.

タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	金 4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590009001	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語Ⅰ(M5)		
編集担当教員	池田 俊也		
授業担当教員名(科目責任者)	池田 俊也		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	池田 俊也		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-32		
対象学生（クラス等）	M5		
担当教員Eメールアドレス	t-ikeda@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	教育学部本館6階（621号室）		
担当教員TEL	821-2092		
担当教員オフィスアワー	在室時随時		
授業の概要及び位置づけ	<p>①大学入学時までに習得した、総合的な英語力をさらに伸ばすこと。とりわけ、「読み」「書き」「聞き」「話す」という4つのスキルのうち、「読解力」「聴解力」に重点を置く。</p> <p>②「読解力」指導については、内容に応じて、音読及びボトムアップ、トップダウン的読解方法の実践指導を行う。</p> <p>③「聴解力」指導については、授業中にランダムに行う小テストによって総力向上を図り、同時にコールシステムの積極的な活用を喚起する。</p>		
授業到達目標	<p>①要点を的確につかみ取る英語読解力と基本的な英語聴解力を身につけること。</p> <p>②TOEIC Test で600点以上の高得点を取れるような日常的努力を目指し、コールシステムなどの機材を活用する積極性を持つこと。</p>		
授業方法（学習指導法）	<p>①「パラグラフ・リーディング」の養成を主眼とするテキストを使用し、ラピッド・リーディングの訓練を行う。内容的にはup-to-dateな話題を扱ったものであり、確実な理解がなされているかを練習問題を通して確認する。要点説明は各自にやらせよう。</p> <p>②あわせて、リスニングではこれまでに修得した聴解力をさらに伸ばすために、TOEIC Test に準じた問題集でランダムに小テストを実施する。</p>		
	16回目 定期試験		
	回	内容	
	1	以下のおおまかな順番で授業を進める。授業回数横の上段の語句は当日のスキル目標で、下段はReading 教材のタイトルである。 第1回：授業概要（テキストを通じた授業内容の説明） Have I found Ms.Right?	
	2	第2回：Skimming for the Main Idea(1) How good is your memory?	
	3	第3回：Predicting The history of Time-Keeping	

授業内容	4	第4回：Identifying Meaning from context Endangered species	
	5	第5回：Identifying Main Ideas within Paragraphs(1) Travel Manner	
	6	第6回：Identifying Cause and Effect What does a million dollars Buy? 3 step テスト	
	7	第7回：Identifying Main and Supporting Ideas(1) Earth's mysterious places	
	8	第8回：Identifying Fact versus Opinion Is an only child a lonely child?	
	9	第9回：Arguing For and Against a Topic Homeschooling: a better way to learn?	
	10	第10回：Inferring The segway: a new look at travel	
	11	第11回：Logical and Chronological Sequencing What constitutes art?	
	12	第12回：Skimming for the Main Ideas(2) Avoiding Cultural Taboos 3 step 小テスト	
	13	第13回：G-Telp テスト	
	14	第14回：Identifying Meaning and Supporting Ideas(2) Robotic Surgeons	
	15	第15回：Identifying Main Ideas within Paragraphs(2) Changing roles: Stay-at-home dads	
	16	定期試験（筆記）：形式については授業時に説明	
	キーワード		
	教科書・教材・参考書	N.J.Anderson, 川又正之,Advanced Skills for Reading, 成美堂	
	成績評価の方法・基準等	期末筆記試験・小テストの結果（60%）とG-Telp Test(20%)E-ラーニング(20%)など全学教育（英語）の規則に従って、評価する。	
受講要件（履修条件）	指定クラスの学生及び再履修学生		
備考（URL）			
学生へのメッセージ	毎日のEラーニング（自習教材）の活用、授業前の予習等規則的な学習に努めること。		



タイトル「2014年度シラバス（教養教育科目）」、開講所属「教養教育-教養教育 英語科目」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590009002	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語Ⅰ(T4)		
編集担当教員	稲富 百合子		
授業担当教員名(科目責任者)	稲富 百合子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	稲富 百合子		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-22		
対象学生(クラス等)	工学(T4)		
担当教員Eメールアドレス	inadomi@fukuoka-u.ac.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	授業の前後、また、メールにて受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ	この授業では、ナショナルジオグラフィックの映像(DVD)を活用しながら、できるだけ多くの英語の文章に触れ、読解力を高めることを目指します。		
授業到達目標	<p>(1) 英語の文章構成の基礎知識について学び、速読のスキルを身につけ、英語の文章を効率的に、かつ正確に読み進めることができるようになる。</p> <p>(2) 自然な速度で話される英語の音声変化の特徴を学び、話されている内容の理解力を向上させる。</p>		
授業方法(学習指導法)	<p>授業の前半ではリーディングを中心に、後半ではリスニングの問題を中心に進めていきます。授業のはじめに小テストを行います。各自、予習・復習をして授業に臨んでください。</p> <p>予習、復習を前提に行います。1回の授業につき1ユニット進めることを進度の目安にしてください。</p> <p>リーディングでは、自然・動物と人間との関わりをテーマにした英文を読み、語彙・文法・構文など、様々な知識を習得していきましょう。</p> <p>リスニングにおいては、ディクテーションを行い、内容の大意をつかむ練習と細部まで理解を深める練習の両方を行います。また、単語や表現の正確な発音を身につけていきます。</p> <p>テキストの構成は以下の通りです。</p> <p>(1) Viewing for Introduction: そのUnitで学習する部分のストーリーの全体像をつかむ</p> <p>(2) Vocabulary: 日本語の意味だけでなく、英語の説明を理解することでその語句の持つニュアンスをより深く知る</p> <p>(3) Reading 1 & 2: 長文を読み、内容を把握したり、話の流れを理解したり、段落の概要をまとめたりする</p> <p>(3) Viewing for Understanding: 映像を視聴して、その内容について答える問題</p> <p>(4) Dictation: 音声のみによる聴き取り問題</p> <p>(5) Post-reading Exercise: 語句の練習問題や文法事項の確認問題</p> <p>(6) Viewing All & Summary: ストーリー全編を視聴して、全体の内容を再確認。</p> <p>(7) Critical Thinking: ストーリーが提起している問題を考える</p>		
	回	内容	

授業内容	1	教科書販売、オリエンテーション（授業の進め方について説明）、英語の文章構成について（プリント教材） テキストIntroduction
	2	Unit 1 A Disappearing World: Part 1
	3	Unit 2 A Disappearing World: Part 2
	4	Unit 3 The Missing Snows of Kilimanjaro: Part 1
	5	Unit 4 The Missing Snows of Kilimanjaro: Part 2
	6	3step小テスト Unit 5 Cambodia Animal Rescue: Part 1
	7	Unit 6 Cambodia Animal Rescue: Part 2
	8	Unit 7 Orangutan Language: Part 1
	9	Unit 8 Orangutan Language: Part 2
	10	Unit 9 Cupid the Dolphin: Part 1
	11	Unit 10 Cupid the Dolphin: Part 2
	12	3step小テスト Unit 11 Cupid the Dolphin: Part 3
	13	G-TELP
	14	Unit 12 Saving the Pandas: Part 1
	15	Unit 13 Saving the Pandas: Part 2
	16	定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書	[Title] Messages from the Globe - National Geographic Multi-media Reading Course [Author(s)] 山科美知子／横山三鶴／沖野泰子 [Publisher] センゲージラーニング [ISBN] 978-4-86312-187-4 *参考書等 授業中に適時紹介します。	
成績評価の方法・基準等	【教員評価部分】60%＜定期試験35%、授業への積極的な取り組み状況（発表を含む）15%、小テスト10%＞、【課外学習のe-learning】20%＜3 Step Call 10%、Power Words 10%＞、【G-TELP】20%とし、総合的に評価します。課外学習のe-learningに関しては第1回目の授業の際に説明します。	
受講要件（履修条件）	原則として全回出席しなければ単位は成立しません。ただし、やむを得ず（正当な理由で）欠席する場合は、個別指導を行います。 第1回目の授業では、教室で教科書販売を行います。価格は2415円です。 授業には必ず辞書を持参してください。	
備考（URL）		
学生へのメッセージ	毎回授業のはじめに小テストを実施しますので、遅刻のないよう注意してください。	

Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.

タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	月3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590009003	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語Ⅰ(P2)		
編集担当教員	光野 百代		
授業担当教員名(科目責任者)	光野 百代		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	光野 百代		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-22		
対象学生（クラス等）	P 2		
担当教員Eメールアドレス			
担当教員研究室	言語教育センター		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	火曜2限		
授業の概要及び位置づけ	この授業は、ニュースを読み、聞くことを通して、英語の表現や論理を理解し、主にリーディングおよびリスニングのコミュニケーション能力を習得することに重点を置きます		
授業到達目標	英語で表現される内容を論理的に理解し、リーディングおよびリスニングの技能を習得し、英語を読み・聞くことに自信をつける、ことを目標とします。		
授業方法（学習指導法）	英語で書かれたニュースを理解することを中心に活動を行います。また、コミュニケーション能力の習得に必要な、英語の聞き取り、発音や、語彙の獲得、英語を論理的に理解する、等の練習も行う予定です。		
授業内容	授業のはじめに英語のコミュニケーション能力を習得するために重要な学習活動を概観した後、1回の授業で1Unitをカバーしていく予定です。 授業の進度に応じて、授業計画が変更になることがあります。授業の進度に応じて、授業計画が変更になることもあります。		
	回	内容	
	1	introduction	
	2	Unit1	
	3	Unit2	
	4	Unit3	
	5	Unit4	
	6	Unit5 3 Step 小テスト	
	7	Unit6	
	8	Unit7	
9	Unit8		

	10	Unit9
	11	Unit10
	12	Unit11 3 step 小テスト
	13	G-TELP試験
	14	Unit12
	15	Unit13
	16	期末試験
キーワード	リーディング、リスニング、クリティカル・シンキング	
教科書・教材・参考書	Power Up your English with CNN news 朝日出版社 1800円 英語の辞書 必要に応じてハンドアウトを適宜配布。	
成績評価の方法・基準等	G-T E L P (2 0 %) 、 E - L e a r n i n g (2 0 %) 、 授 業 活 動 ・ 課 題 へ の 積 極 的 参 加 (2 0 %) 、 期 末 試 験 (4 0 %)	
受講要件 (履修条件)	基本的に授業には毎回遅れないように出席して下さい。授業を5回以上欠席した場合は成績評価の対象としません。また、2回の遅刻で一回の欠席とカウントしますので注意してください。 最初の授業は、授業計画を説明するので必ず出席して下さい。	
備考 (URL)		
学生へのメッセージ		



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	火3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590009004	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語Ⅰ(L6)		
編集担当教員	稲田 俊明		
授業担当教員名(科目責任者)	稲田 俊明		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	稲田 俊明		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-23		
対象学生（クラス等）	L 6		
担当教員Eメールアドレス			
担当教員研究室	言語教育センター		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	火曜2限		
授業の概要及び位置づけ	この授業は、ニュースを読み、聞くことを通して、英語の表現や論理を理解し、主にリーディングおよびリスニングのコミュニケーション能力を習得することに重点を置きます。		
授業到達目標	英語で表現される内容を論理的に理解し、リーディングおよびリスニングの技能を習得し、英語を読み・聞くことに自信をつける、ことを目標とします。		
授業方法（学習指導法）	英語で書かれたニュースを理解することを中心に活動を行います。また、コミュニケーション能力の習得に必要な、英語の聞き取り、発音や、語彙の獲得、英語を論理的に理解する、等の練習も行う予定です。		
授業内容	授業のはじめに英語のコミュニケーション能力を習得するために重要な学習活動を概観した後、1回の授業で1Unitをカバーしていく予定です。 授業の進度に応じて、授業計画が変更になることがあります。		
	回	内容	
	1	introduction	
	2	Unit1	
	3	Unit2	
	4	Unit3	
	5	Unit4	
	6	Unit5 3 Step 小テスト	
	7	Unit6	
	8	Unit7	
9	Unit8		

	10	Unit9
	11	Unit10
	12	Unit11 3 Step 小テスト
	13	G-TELP試験
	14	Unit12
	15	Unit13
	16	期末試験
キーワード	リーディング、リスニング、クリティカル・シンキング	
教科書・教材・参考書	Power Up your English with CNN news 朝日出版社 英語の辞書 必要に応じてハンドアウトを適宜配布。	
成績評価の方法・基準等	G-T E L P (2 0 %) 、 E - L e a r n i n g (2 0 %) 、 授 業 活 動 ・ 課 題 へ の 積 極 的 参 加 (2 0 %) 、 期 末 試 験 (4 0 %)	
受講要件 (履修条件)	基本的に授業には毎回遅れないように出席して下さい。授業を5回以上欠席した場合は成績評価の対象としません。また、 ² 回の遅刻で1回の欠席とカウントしますので注意してください。 最初の授業は、この授業の計画を説明するので必ず出席してください。	
備考 (URL)		
学生へのメッセージ		



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590009005	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語Ⅰ(T5)		
編集担当教員	光野 百代		
授業担当教員名(科目責任者)	光野 百代		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	光野 百代		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-32		
対象学生（クラス等）	T 5		
担当教員Eメールアドレス			
担当教員研究室	言語教育センター		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	火曜2限		
授業の概要及び位置づけ	この授業は、ニュースを読み、聞くことを通して、英語の表現や論理を理解し、主にリーディングおよびリスニングのコミュニケーション能力を習得することに重点を置きます。		
授業到達目標	英語で表現される内容を論理的に理解し、リーディングおよびリスニングの技能を習得し、英語を読み・聞くことに自信をつける、ことを目標とします。		
授業方法（学習指導法）	英語で書かれたニュースを理解することを中心に活動を行います。また、コミュニケーション能力の習得に必要な、英語の聞き取り、発音や、語彙の獲得、英語を論理的に理解する、等の練習も行う予定です。		
授業内容	授業のはじめに英語のコミュニケーション能力を習得するために重要な学習活動を概観した後、1回の授業で1Unitをカバーしていく予定です。 授業の進度に応じて、授業計画が変更になることがあります。		
	回	内容	
	1	introduction	
	2	Unit1	
	3	Unit2	
	4	Unit3	
	5	Unit4	
	6	Unit5 3 Step 小テスト	
	7	Unit6	
	8	Unit7	
9	Unit8		

	10	Unit9
	11	Unit10
	12	Unit11 3 Step 小テスト
	13	G-TELP試験
	14	Unit12
	15	Unit13
	16	期末試験
キーワード	リーディング、リスニング、クリティカル・シンキング	
教科書・教材・参考書	Power Up your English with CNN news 朝日出版社 1800円 英語の辞書 必要に応じてハンドアウトを適宜配布。	
成績評価の方法・基準等	G-T E L P (2 0 %) 、 E - L e a r n i n g (2 0 %) 、 授 業 活 動 ・ 課 題 へ の 積 極 的 参 加 (2 0 %) 、 期 末 試 験 (4 0 %)	
受講要件 (履修条件)	基本的に授業には毎回遅れないように出席して下さい。授業を5回以上欠席した場合は成績評価の対象としません。また、2回の遅刻で一回の欠席とカウントしますので注意してください。 最初の授業は、授業計画を説明するので必ず出席してください。	
備考 (URL)		
学生へのメッセージ		



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590009006	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語Ⅰ(L1)		
編集担当教員	光野 百代		
授業担当教員名(科目責任者)	光野 百代		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	光野 百代		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-32		
対象学生（クラス等）	L 1		
担当教員Eメールアドレス			
担当教員研究室	言語教育センター		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	火曜2限		
授業の概要及び位置づけ	この授業は、ニュースを読み、聞くことを通して、英語の表現や論理を理解し、主にリーディングおよびリスニングのコミュニケーション能力を習得することに重点を置きます		
授業到達目標	英語で表現される内容を論理的に理解し、リーディングおよびリスニングの技能を習得し、英語を読み・聞くことに自信をつける、ことを目標とします。		
授業方法（学習指導法）	英語で書かれたニュースを理解することを中心に活動を行います。また、コミュニケーション能力の習得に必要な、英語の聞き取り、発音や、語彙の獲得、英語を論理的に理解する、等の練習も行う予定です。		
授業内容	授業のはじめに英語のコミュニケーション能力を習得するために重要な学習活動を概観した後、1回の授業で1Unitをカバーしていく予定です。 授業の進度に応じて、授業計画が変更になることがあります。		
	回	内容	
	1	introduction	
	2	Unit1	
	3	Unit2	
	4	Unit3	
	5	Unit4	
	6	Unit5 3 Step 小テスト	
	7	Unit6	
	8	Unit7	
9	Unit8		

	10	Unit9
	11	Unit10
	12	Unit11 3 Step 小テスト
	13	G-TELP試験
	14	Unit12
	15	Unit13
	16	期末試験
キーワード	リーディング、リスニング、クリティカル・シンキング	
教科書・教材・参考書	Power Up your English with CNN news 朝日出版社 1800円 英語の辞書 必要に応じてハンドアウトを適宜配布。	
成績評価の方法・基準等	G-T E L P (2 0 %) 、 E - L e a r n i n g (2 0 %) 、 授業活動・課題への積極的参加 (2 0 %) 、 期末試験 (4 0 %)	
受講要件 (履修条件)	基本的に授業には毎回遅れないように出席して下さい。授業を5回以上欠席した場合は成績評価の対象としません。また、 ² 回の遅刻で一回の欠席とカウントしますので注意してください。 最初の授業は、授業計画を説明するので必ず出席して下さい。	
備考 (URL)		
学生へのメッセージ		



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590009007	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語Ⅰ(K3)		
編集担当教員	小笠原 真司		
授業担当教員名(科目責任者)	小笠原 真司		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	小笠原 真司		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養C棟]C-35(call1)		
対象学生（クラス等）	(K3)		
担当教員Eメールアドレス	ogasa-s@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	環境科学部1階		
担当教員TEL	095-819-2094		
担当教員オフィスアワー	火4 水3 木3		
授業の概要及び位置づけ	このクラスは、環境・医療・健康・食品関係のCNNのニュース素材を用いて、リスニング力やリーディング力および専門に関する語彙力の養成を行います。また、音読の訓練も行い、スピーキングの基礎訓練も行います。		
授業到達目標	テキストの英文を辞書なしでも大意がとれるようにします。語彙レベルでは、テキストで指定されたKey Words およびVocabulary Check で登場する計 約300語を確実に修得します。e-learning 教材パワーワーズレベル3の英単語90%を修得します。3Step 教材は、20時間以上学習してもらいます。		
授業方法（学習指導法）	<p>演習形式で行います。テキストのリスニング教材では、CALL教室の機能を用いて、いろいろな方法でCNNを聞き取る練習をします。また、リーディング用教材では、大意を取る練習をしながら、速読の訓練をします。</p> <p>CNNのテキストと同時に授業中にも、3 Step教材の指導もします。課題学習の整理やテストなどを行います。パワーワーズも、指定したレベルを定期的に試験します。</p> <p>またコミュニケーション活動用のプリントを利用して、リスニングの練習やリピーティングやシャドーイングの訓練も行い、4技能の修得を目指します。</p>		
	<p>授業の最初は、まず家庭学習のe-learning教材の小テストを行います。</p> <p>それが終わると、しばらく3 Step 教材に挑戦します。CALL教室の機能を利用して、とことん聞き取る練習をします。指定された範囲の部分は、かならず家で学習してきてください。</p> <p>その後、テキストを用いて、リスニングおよびリーディングの練習をします。学生は指示された範囲や内容を必ず予習して授業に参加してください。ここでは、音読の練習も行います。英語のリズムや音から英語を学ぶことも大切です。また、このテキストを用いて、時間を制限して読んでもらい、大意をつかみ、必要な情報を読み取る練習をします。</p> <p>また、プリントとCDを用いて専門分野の英単語の修得も行ないます。</p> <p>英語の力を維持し、さらに向上させるためには、大学での授業に加えて家庭での学習が必要となります。授業の一部を利用してe-learning教材にも挑戦してもらいますが、大半は授業外での学習となります。その成果は、小テストにより評価します。</p> <p>担当者から指示された家庭学習や予習復讐を行えば、必ず英語の力は向上します。がんばっ</p>		

てください。

授業内容

回	内容
1	オリエンテーション 教科書 Unit 1. e-learning Power Words Level 3 Unit.1 3 Step First Listening
2	教科書 Unit 2. 専門英語語彙 (1) e-learning Power Words Level 3 Unit.2~4 3 Step First Listening
3	教科書 Unit 3. 専門英語語彙 (2) e-learning Power Words Level 3 Unit.5~8 3 Step First Listening
4	教科書 Unit 4. 専門英語語彙 (3) e-learning Power Words Level 3 Unit.9~12 3 Step First Listening
5	教科書 Unit 5. 専門英語語彙 (4) e-learning Power Words Level 3 Unit.13~16 3 Step First Listening
6	教科書 Unit 6. 専門英語語彙 (5) e-learning Power Words Level 3 Unit.17~20 3 Step First Listening 3 Step 小テスト
7	教科書 Unit 7. 専門英語語彙 (6) e-learning Power Words Level 3 Unit.21~24 3 Step First Listening
8	教科書 Unit 8. 専門英語語彙 (7) e-learning Power Words Level 3 Unit.25~28 3 Step First Listening
9	教科書 Unit 9. 専門英語語彙 (8) e-learning Power Words Level 3 Unit.29~32 3 Step First Listening
10	教科書 Unit 10. 専門英語語彙 (9) e-learning Power Words Level 3 Unit.33~36 3 Step First Listening
11	教科書 Unit 11. 専門英語語彙 (10) e-learning Power Words Level 3 Unit.37~40 3 Step First Listening
12	教科書 Unit 12. 専門英語語彙 (11) e-learning Power Words Level 3 Unit.41~43 3 Step First Listening 3 Step 小テスト
13	G-TELP 試験
14	教科書 Unit 13. 専門英語語彙 (12) e-learning Power Words Level 3 Unit.44~47 3 Step First Listening

	15	教科書 Unit 14. 専門英語語彙 (13) e-learning Power Words Level 3 Unit.48~50 3 Step First Listening
	16	定期試験
キーワード	スキミング、スキヤニング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、リピーティング	
教科書・教材・参考書	教科書（テキスト）： Power Up Your English with CNN News（朝日出版） 1,800円 教材：プリント教材 必要に応じて毎回配布します。	
成績評価の方法・基準等	成績評価は、 ○定期試験50%、G-TELP20%、e-learning 20%(小テスト含む) 授業中の発表10%で行います。	
受講要件（履修条件）	全回出席が原則。教科書も必ず購入すること(ワークブックとして、時々提出してもらいます)。	
備考（URL）		
学生へのメッセージ	英語の力をつけるためには、授業の予習、復習に加えて、自分で英語学習時間を作り出し、英語の教材にチャレンジすることが大切です。長崎大学で推奨しているe-learning教材の3 Step やパワーワーズ、さらにNHKテレビやラジオの英語講座などをおすすめします。	

[▲戻る](#)

タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590009008	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語Ⅰ(P1)		
編集担当教員	稲田 俊明		
授業担当教員名(科目責任者)	稲田 俊明		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	稲田 俊明		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-32		
対象学生（クラス等）	P1		
担当教員Eメールアドレス	inadat@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	言語教育研究センター		
担当教員TEL	095-819-2379		
担当教員オフィスアワー	火曜2限（事前にメールで連絡すること）		
授業の概要及び位置づけ	<ol style="list-style-type: none"> ① 英語の読解力と日本語・英語による要約する能力を養う。 ② 課題について英語で論述する力を養う。 ③ 英文のリスニングの能力を養う。 		
授業到達目標	<ol style="list-style-type: none"> ① 英語の論説やニュース記事について、日本語で簡潔に要約ができるようになる。 ② 英語の論説やニュース記事について、英語で要約ができるようになる。 ③ 課題について、英語で議論するための基礎的なライティング能力を身に付ける。 		
授業方法（学習指導法）	<ol style="list-style-type: none"> ① 指定した教材により、英文の読解、要約、聞き取りを行う。 ② 毎週、語彙テストを行い、隔週、課題の提出を求める。 		
授業内容	回	内容	
	1	COURSE OUTLINE（導入）：教材配布	
	2	英文速読教材（1）	
	3	英文速読教材（2）	
	4	Listening Comprehension Quiz（第1回）	
	5	英文要約教材（1）	
	6	英文要約教材（2）	
	7	Listening Comprehension Quiz（第2回）	
	8	英語要約課題（3）	
	9	英語要約課題（4）	
	10	Listening Comprehension Quiz（第3回）	
11	英文交渉メールの基礎と練習		

	12	英語課題作文練習（1）
	13	G-TELP (Test)
	14	英語課題作文練習（2）
	15	英語プレゼンテーション
	16	期末試験
キーワード		
教科書・教材・参考書		教材は授業で配布する。
成績評価の方法・基準等		G-TELP 20% 指定する e-learning 教材 20% 授業中の課題 10%、 期末テスト 50%
受講要件（履修条件）		同クラスの履修経験のないもの
備考（URL）		
学生へのメッセージ		事前に、教材と指定された課題を十分に学修しておくこと。



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	木 4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590009009	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語Ⅰ(M3)		
編集担当教員	光野 百代		
授業担当教員名(科目責任者)	光野 百代		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	光野 百代		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-13		
対象学生（クラス等）	M 3		
担当教員Eメールアドレス	mmitsuno@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	言語教育研究センター		
担当教員TEL	095-819-2945		
担当教員オフィスアワー	火曜 2 限		
授業の概要及び位置づけ	① 英語の読解力と日本語・英語による要約する能力を養う。 ② 課題について英語で論述する力を養う。 ③ 英文のリスニングの能力を養う。		
授業到達目標	① 英語の論説やニュース記事について、日本語で簡潔に要約ができるようになる。 ② 英語の論説やニュース記事について、英語で要約ができるようになる。 ③ 課題について、英語で議論するための基礎的なライティング能力を身に付ける。		
授業方法（学習指導法）	① 指定した教材により、英文の読解、要約、聞き取りを行う。 ② 毎週、語彙テストを行い、隔週、課題の提出を求める。		
授業内容	回	内容	
	1	COURSE OUTLINE（導入）：教材配布	
	2	英文速読教材（1）	
	3	英文速読教材（2）	
	4	Listening Comprehension Quiz（第1回）	
	5	英文要約教材（1）	
	6	英文要約教材（2）	
	7	Listening Comprehension Quiz（第2回）	
	8	英語要約課題（3）	
	9	英語要約課題（4）	
	10	Listening Comprehension Quiz（第3回）	
11	英文交渉メールの基礎と練習		

	12	英語課題作文練習（1）
	13	G-TELP (Test)
	14	英語課題作文練習（2）
	15	英語プレゼンテーション
	16	期末試験
キーワード		
教科書・教材・参考書		教材は授業で配布する。
成績評価の方法・基準等		G-TELP 20% 指定する e-learning 教材 20% 授業中の課題 10%、 期末テスト 50%
受講要件（履修条件）		同クラスの履修経験のないもの
備考（URL）		
学生へのメッセージ		事前に、教材と指定された課題を十分に学修しておくこと。



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590009010	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語Ⅰ(E5)		
編集担当教員	稲富 百合子		
授業担当教員名(科目責任者)	稲富 百合子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	稲富 百合子		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-22		
対象学生（クラス等）	経済（E5）		
担当教員Eメールアドレス	inadomi@fukuoka-u.ac.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	授業の前後、また、メールにて受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ	この授業では、世界15カ国の文化や歴史に関する映像(DVD)を活用しながら、できるだけ多くの英語の文章に触れ、読解力を養成することを目指します。		
授業到達目標	<p>(1) 英語の文章構成の基礎知識について学び、速読のスキルを身につけ、英語の文章を効率的に、かつ正確に読み進めることができるようになる。</p> <p>(2) 自然な速度で話される英語の音声変化の特徴を学び、話されている内容の理解力を向上させる。</p>		
授業方法（学習指導法）	<p>授業の前半ではリーディングを中心に、後半ではリスニングの問題を中心に進めていきます。各自、予習、復習をして授業に臨んでください。</p> <p>予習、復習を前提に行います。1回の授業につき1ユニット進めることを進度の目安にしてください。</p> <p>リーディングでは、各国に関する英文を読み、語彙・文法・構文など、様々な要素の知識を習得していきましょう。</p> <p>リスニングにおいては、ディクテーションを行い、内容の大意をつかむ練習と細部まで理解を深める練習の両方を行います。また、単語や表現の正確な発音を身につけていきます。</p> <p>テキストの構成は以下の通りです。</p> <p>(1) Warm-up Exercise: 各国に関する背景知識について</p> <p>(2) Vocabulary Exercise: Readingの中に出てくる単語とその意味について</p> <p>(3) Reading: 300語程度の英文。各国に関する情報を増やし、DVDの内容理解の助けとなるもの</p> <p>(3) DVD Part I: 各国の歴史、文化、社会などの紹介と内容理解を問う練習問題</p> <p>(4) DVD PART II: 地元の人々へのインタビュー</p>		
	回	内容	
	1	教科書販売、オリエンテーション（授業の進め方について説明）、英語の文章構成について（プリント教材）	
	2	Chapter 1:INDIA	

授業内容	3	Chapter 2: PHILIPPINES	
	4	Chapter 3: THAILAND	
	5	Chapter 4: VIETNAM	
	6	3step小テスト Chapter 5: KOREA	
	7	Chapter 6: FRANCE	
	8	Chapter 7: ITALY	
	9	Chapter 8: DENMARK	
	10	Chapter 9: PORTUGAL	
	11	Chapter 10: TURKEY	
	12	3step小テスト Chapter 11: EGYPT	
	13	G-TELP	
	14	Chapter 12: SOUTH AFRICA	
	15	Chapter 13: BRAZIL	
	16	定期試験	
	キーワード		
	教科書・教材・参考書	[Title] World Adventures [Author(s)] Scott Berlin／小林めぐみ [Publisher] 金星堂 [ISBN] 978-4-7647-3907-9 *参考書等 授業中に適時紹介します。 *授業には必ず辞書を持参して下さい。	
成績評価の方法・基準等	【教員評価分】60%＜定期試験35%、授業への積極的な取り組み状況（発表を含む）15%、小テスト10%＞、【課外学習のe-learning】20%＜3 Step CALL 10%、Power Words 10%＞、【G-TELP】20%とし、総合的に評価します。課外学習のe-learningに関しては、第1回目の授業の際に説明します。		
受講要件（履修条件）	原則として全回出席しなければ単位は成立しません。ただし、やむを得ず（正当な理由で）欠席する場合は、個別指導を行います。 第1回目の授業では、教室で教科書販売を行います。価格は2300円（税別）です。 授業には必ず辞書を持参してください。		
備考（URL）			
学生へのメッセージ	毎回授業のはじめに小テストを実施しますので、遅刻のないように注意してください。		



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	火3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590009011	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語Ⅰ(L5)		
編集担当教員	稲毛 逸郎		
授業担当教員名(科目責任者)	稲毛 逸郎		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	稲毛 逸郎		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-31		
対象学生（クラス等）	(L5)		
担当教員Eメールアドレス	inage@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	教育学部 6F 618 研究室		
担当教員TEL	095-819-2093		
担当教員オフィスアワー	水曜日 16:10～17:40		
授業の概要及び位置づけ	高等学校までの英語学習をふまえて、英語の読む・書く・聞く・話すの4技能の能力をさらに伸ばし、総合的な英語運用能力を育成することをねらいとする。		
授業到達目標	英語の4技能の訓練を通して、TOEIC550点が獲得できる総合的英語力の育成を目標とする。		
授業方法（学習指導法）	英語の会話文の間き取り練習を基に、書く・話す練習を行い、また、リーディング用教材を用いて、要点を押さえながらできる限り速く読み進める訓練を行う。		
授業内容	16回目 定期試験		
	回	内容	
	1	受講にあたっての諸注意、授業内容についての導入 A Cultural Difference: Being on Time Scanningのスキルについて	
	2	Changing Lifestyles and New Eating Habits Using Titles to Understand Main Ideas (Gist)	
	3	Language: Is It Always Spoken?(1) Skimming for the Main Idea	
	4	Language: Is It Always Spoken?(2) Recognizing Sequence of Events	
	5	Loneliness: How Can We Overcome It? Identifying Main Ideas within Paragraphs (1)	
	6	The Importance of Grandmothers Predicting のスキル 及び 3step 小テスト	
	7	The Reliability of Eyewitnesses Inferring のスキル	

	8	Innocent until Proven Guilty: The Criminal Court System Identifying Main and Supporting Ideas
	9	Solving Crimes with Modern Tecnology Understanding Main Ideas (Gist)
	10	Ancient Artifacts and Ancient Air (1) Identifying Main Ideas withing Paragraphs (2)
	11	Ancient Artifacts and Ancient Air(2) Developing Reading Fluency (1)
	12	Medical Techonology: Saving Lives with Robotics(1) Developing Reading Fluency (2) 及び 3step 小テスト
	13	Medical Techonology: Saving Lives with Robotics(2) Developing Reading Fluency (3)
	14	Mars Our Neighbor in Space Developing Reading Fluency (4)
	15	授業のまとめ G-TELP 試験
	16	定期試験実施
キーワード	英語の 4 技能、 総合的訓練	
教科書・教材・参考書	Reading Choice-Skills for Academic Success. SENGAGE Learning.	
成績評価の方法・基準等	期末試験(60%)、G-TELP評価点(20%)、CALL教材への積極的な取り組み状況(20%)を基準に評価する。	
受講要件 (履修条件)		
備考 (URL)		
学生へのメッセージ	G-TELPのテストは、原則として授業の15回目に行なわれます。詳細に関しては、担当教員より1回目の授業時に説明が行なわれますので、よく聞いて指示にしたがってください。また、掲示も行いますので、よく注意しておいてください。	



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	金 3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590009012	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語Ⅰ(T7)		
編集担当教員	宇佐美 康子		
授業担当教員名(科目責任者)	宇佐美 康子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	宇佐美 康子		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養B棟]B-15		
対象学生（クラス等）	(T7)		
担当教員Eメールアドレス	usamikan@fsinet.or.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	金曜日 昼休み		
授業の概要及び位置づけ	<p>今まで培ってきた一文一文を正確に読む(精読)力を保持しつつ、ある程度まとまった量の英文を、ある程度速く読んで、ある点についての情報をできるだけ正確にとる、或いは、大意を取る(速読)力を育てる。英語文章の構成を学び、段落ごとの要点と段落間の関係を取る練習をする。また、聴解の活動を通して、英語によるオーラルコミュニケーションの基礎を強化する。英語は現在、どの分野においても、世界第一共通言語となっている。第一線の情報は、英語経由で最も早く詳しく手に入る。それ故どの専門分野においても、英語は大切なスキルとなる。そのため、実践で役立つような英語の読みのスキルを目指す。</p>		
授業到達目標	<p>テキスト程度の英文をある程度の速さで読み、必要な情報を探せ、ある程度的大意が取れること。必要な場合は、正確な英文理解のために基本文法が適用でき、正確に意味が取れること。文脈に応じて語彙の解釈ができること。日本語を介せずに英文が理解できること。基本的な英語を、聞いて理解できること。</p>		
授業方法（学習指導法）	演習形式		
	<p>授業の最初は、英作文、或いは英単語の小テストを行う。テスト範囲は、毎回テキストから指定する。</p> <p>その後、リーディングの練習をする。学生は指示された範囲や内容を、テキストについているCDを使いながら必ず家庭で予習して授業に参加すること。ここでは、音読の練習も行う。各英単語の音を確認するだけでなく、英語のリズムとスピードで音読できることは、将来、ある程度のまとまった量のある程度の速さで読むためには大切である。手を抜かずに努力すること。次に、必要な情報を抜き出す、大意をとる、文法を確認する、精読する、などを行う。テキストにある設問を適宜利用する。</p> <p>場合によってはプリント教材を用いて、リスニング、音読、リーディングの練習をする。</p> <p>英語の力を維持し、さらに向上させるためには、大学での授業に加えて家庭での学習が必要である。英語が苦手な学生もいると思うが、努力すれば、必ず英語の力は向上する。がんばってください。</p>		

	回	内容
授業内容	1	Unit 1 Scientists Zap Coral Reefs with Electricity to Save Them
	2	Unit 2 "Humble" Potato Emerging as World's Next Food Source
	3	Unit 3 Offices Use Ice to Cool Down and Save Power
	4	Unit 4 Study: Exercise in Middle Age Cuts Risk of Alzheimer's
	5	Unit 5 Egyptians Look to Desert for Hot Residential Property
	6	Unit 6 College Students Feel Better after Screaming Together 3step小テスト(15分程度)
	7	Unit 7 Indian Dam Drowns Valley, Angering Farmers
	8	Unit 8 Smoking Bans Could Cut into Cuban Cigar Sales
	9	Unit 9 Global Warming Claiming Next Victim: Andes Water
	10	Unit 10 Aborigines Still Rely on Bush Medicines for Remedies
	11	Unit 11 African Farmers Seek Ways to Survive Droughts
	12	Unit 12 Study: Fruity Cocktails May Be Good for Health 3step小テスト(15分程度)
	13	G-TELPテスト
	14	Unit 13 Rising Seas May Force Island Nations to Evacuate
	15	Unit 14 Malaysians Getting Appetite for Healthier Eating Unit 15 Planned Chinese City Wants All Eco-Friendly Power
	16	期末テスト
キーワード	スキミング、スキヤニング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、リピーティング	
教科書・教材・参考書	Healing Our World: Today's Health and Environment News (Nan'un-do, CD付き, ¥1800+税)	
成績評価の方法・基準等	G-TELPテスト 20%、課外学習のe-learning 20% (3 Step CALL 10%、PowerWords10%) 定期試験約45%、授業への参加(小テスト含む) 約15%。 課外学習の e-learningに関しては第1回目の授業の際に説明する。	
受講要件 (履修条件)	全回出席が原則。教科書を購入して第一回目に臨むこと。第一回目から授業に入る。	
備考 (URL)		
学生へのメッセージ	毎回小テストをします。これは前回の授業の復習になり、好評です。 予習して授業に臨むことが原則です。	



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	金 4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590009013	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語Ⅰ(M6)		
編集担当教員	宇佐美 康子		
授業担当教員名(科目責任者)	宇佐美 康子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	宇佐美 康子		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養B棟]B-15		
対象学生（クラス等）	(M6)		
担当教員Eメールアドレス	usamikan@fsinet.or.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	金曜日 昼休み		
授業の概要及び位置づけ	<p>今まで培ってきた一文一文を正確に読む(精読)力を保持しつつ、ある程度まとまった量の英文を、ある程度速く読んで、ある点についての情報をできるだけ正確にとる、或いは、大意を取る(速読)力を育てる。英語文章の構成を学び、段落ごとの要点と段落間の関係を取る練習をする。また、聴解の活動を通して、英語によるオーラルコミュニケーションの基礎を強化する。英語は現在、どの分野においても、世界第一共通言語となっている。第一線の情報は、英語経由で最も早く詳しく手に入る。それ故どの専門分野においても、英語は大切なスキルとなる。そのため、実践で役立つような英語の読みのスキルを目指す。</p>		
授業到達目標	<p>テキスト程度の英文をある程度の速さで読み、必要な情報を探せ、ある程度的大意が取れること。必要な場合は、正確な英文理解のために基本文法が適用でき、正確に意味が取れること。文脈に応じて語彙の解釈ができること。日本語を介せずに英文が理解できること。基本的な英語を、聞いて理解できること。</p>		
授業方法（学習指導法）	演習形式		
	<p>授業の最初は、英作文、或いは英単語の小テストを行う。テスト範囲は、毎回テキストから指定する。</p> <p>その後、リーディングの練習をする。学生は指示された範囲や内容を、テキストについているCDを使いながら必ず家庭で予習して授業に参加すること。ここでは、音読の練習も行う。各英単語の音を確認するだけでなく、英語のリズムとスピードで音読できることは、将来、ある程度まとまった量のある程度の速さで読むためには大切である。手を抜かずに努力すること。次に、必要な情報を抜き出す、大意をとる、文法を確認する、精読する、などを行う。テキストにある設問を適宜利用する。</p> <p>場合によってはプリント教材を用いて、リスニング、音読、リーディングの練習をする。</p> <p>英語の力を維持し、さらに向上させるためには、大学での授業に加えて家庭での学習が必要である。英語が苦手な学生もいると思うが、努力すれば、必ず英語の力は向上する。がんばってください。</p>		

	回	内容
授業内容	1	Unit 1 The Uncanny Valley
	2	Unit 2 Biotope
	3	Unit 3 Church of the Light
	4	Unit 4 Energy-Efficient Housing
	5	Unit 5 Universal Design
	6	Unit 6 Living with Robots 3step小テスト(15分程度)
	7	Unit 7 Still Evolving After All These Years
	8	Unit 8 Choosing and Protecting Passwords
	9	Unit 9 Linux Unit 10 Stem Cell - A Miracle Cure
	10	Unit 11 Earth Batteries Unit 12 Predicting Intentions
	11	Unit 13 Urban Heat Islands Unit 14 Robo-roaches
	12	Unit 15 Machines Simple and Sophisticated Unit 16 Cells and Batteries 3step小テスト(15分程度)
	13	G-TELPテスト
	14	Unit 17 Polymers: Building Blocks for Life Unit 18 Wonderful World of Plasma
	15	Unit 19 Natural Fibers Unit 20 Earthquake Friction Dampers Unit 21 Working with Computers
	16	期末テスト
キーワード	スキミング、スキャニング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、リピーティング	
教科書・教材・参考書	Paragraph Reading: 21 World-Changing Innovations (Nan'un-do, CD付き, ¥2000+税)	
成績評価の方法・基準等	G-TELPテスト 20%、課外学習のe-learning 20% (3 Step CALL 10%、PowerWords10%) 定期試験約45%、授業への参加(小テスト含む) 約15%。 課外学習の e-learningに関しては第1回目の授業の際に説明する。	
受講要件 (履修条件)	全回出席が原則。教科書を購入して第一回目に臨むこと。第一回目から授業に入る。	
備考 (URL)		
学生へのメッセージ	毎回小テストをします。これは前回の授業の復習になり、好評です。 予習して授業に臨むことが原則です。	



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	火3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590009014	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語Ⅰ(G1)		
編集担当教員	奥田 阿子		
授業担当教員名(科目責任者)	奥田 阿子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	奥田 阿子		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養C棟]C-45(call3)		
対象学生（クラス等）	G1 再履修生の受講不可		
担当教員Eメールアドレス	a-okuda@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室			
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	質問受付時間：火曜日4限目 教員Eメールアドレス宛に質問も可		
授業の概要及び位置づけ	4年間の基礎となる英語力を身につけ、英語圏への留学を想定した実践的な英語の運用能力を養成する。 授業外ではインプットを重視したリスニングを行い、授業中にはアウトプットを重視した活動を取り入れる。		
授業到達目標	情報収集を行ったものに対し、英語を用いて相手に伝えられるようになること。 自分に合った英語の学習法を見つけること。		
授業方法（学習指導法）	反転授業を取り入れた授業を行う。 授業で扱う内容は授業前に学習し、内容理解をしておく。授業中は、その内容を発展させた活動を取り入れ、グループでの発表に備えた作業を行ってもらいながら英語の運用能力の養成を図ります。		
	回	内容	
	1	オリエンテーション 教材の説明、学習方法の説明、成績についての説明 グループ作り アンケートの実施	
	2	グループワーク 学習方法について iPadの導入	
	3	個人/グループワーク New York Liveを使用したフレーズの習得	
	4	個人/グループワーク New York Liveを使用したフレーズの習得	

授業内容	5	個人ワーク 3回目、4回目の授業で学んでフレーズを使用した英作文の作成
	6	UNITテスト グループワーク 5回目の授業で作成した英作文に対し、グループでピアレビューを行う
	7	グループワーク ピアレビューした英作文をもとに、グループで発表準備を行う
	8	グループワーク 発表
	9	グループワーク 発表の振り返りと他グループの評価
	10	個人/グループワーク 動画や資料を通して、意思力について理解し、自らの学習に応用できるか考える
	11	個人/グループワーク 動画や資料を通して、意思力について理解し、自らの学習に応用できるか考える
	12	UNITテスト グループワーク 10回、11回の授業で得た情報をもとに発表準備を行う
	13	G-TELP
	14	グループワーク 発表
	15	グループワーク 発表の振り返りと他グループの評価
	16	期末テスト
	キーワード	
	教科書・教材・参考書	3-Step CALL System (e-learning)
	成績評価の方法・基準等	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト：15% ・期末試験：15% ・提出物、グループワークの成果物：30% (自分たちでの評価、他グループからの評価、教員からの評価等) ・G-TELP：20% ・e-learning：20% (PowerWords 10%：単語の教材のレベルを1上げること 3-Step CALL System 10%：2回のUNITテスト)
	受講要件 (履修条件)	再履修生は受講できません。
備考 (URL)		
学生へのメッセージ	リスニング力を上げるためには、毎日少しの時間でも英語を耳にする時間を作りましょう！！	



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	木 3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590009015	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語Ⅰ(T2)		
編集担当教員	奥田 阿子		
授業担当教員名(科目責任者)	奥田 阿子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	奥田 阿子		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養C棟]C-35(call1)		
対象学生（クラス等）	(T2)		
担当教員Eメールアドレス	a-okuda@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室			
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	質問受付時間：木曜日 4 限目 教員Eメールアドレス宛に質問も可		
授業の概要及び位置づけ	4年間の基礎となる英語力を身につけ、実践的な英語の運用能力を養成する。		
授業到達目標	情報収集を行ったものに対し、簡単な英語を用いて相手に伝えられるようになること。 自分に合った英語の学習法を見つけること。		
授業方法（学習指導法）	授業で扱う内容は授業前に学習し、内容理解をしておく。授業中は、その内容を発展させた活動を取り入れ、グループでの発表に備えた作業を行ってもらいながら英語の運用能力の養成を図ります。		
	回	内容	
	1	オリエンテーション 教材の説明、学習方法の説明、成績についての説明 グループ作り アンケートの実施	
	2	グループワーク 学習方法について iPadの導入	
	3	個人/グループワーク First Listeningを使用したフレーズの習得	
	4	個人/グループワーク First Listeningを使用したフレーズの習得	
	5	個人ワーク 3回目、4回目の授業で学んでフレーズを使用した英作文の作成	
	6	UNITテスト グループワーク	

授業内容		5回目の授業で作成した英作文に対し、グループでピアレビューを行う
	7	グループワーク ピアレビューした英作文をもとに、グループで発表準備を行う
	8	グループワーク 発表
	9	グループワーク 発表の振り返りと他グループの評価
	10	個人/グループワーク 動画や資料を通して、意思力について理解し、自らの学習に応用できるか考える
	11	個人/グループワーク 動画や資料を通して、意思力について理解し、自らの学習に応用できるか考える
	12	UNITテスト グループワーク 10回、11回の授業で得た情報をもとに発表準備を行う
	13	G-TELP
	14	グループワーク 発表
	15	グループワーク 発表の振り返りと他グループの評価
	16	期末テスト
キーワード		
教科書・教材・参考書	3-Step CALL System (e-learning)	
成績評価の方法・基準等	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト：15% ・期末試験：15% ・提出物、グループワークの成果物：30% (自分たちでの評価、他グループからの評価、教員からの評価等) ・G-TELP：20% ・e-learning：20% (PowerWords 10%：単語の教材のレベルを1上げること 3-Step CALL System 10%：2回のUNITテスト) 	
受講要件（履修条件）		
備考（URL）		
学生へのメッセージ	リスニング力を上げるためには、毎日少しの時間でも英語を耳にする時間を作りましょう！！	



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590009016	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語Ⅰ(T6)		
編集担当教員	加島 巧		
授業担当教員名(科目責任者)	加島 巧		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	加島 巧		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-33		
対象学生（クラス等）	(T6)		
担当教員Eメールアドレス	kashima@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	授業時間の前後		
授業の概要及び位置づけ	ねらい：二種類のテキストを使い、さまざまな練習問題を解いて行きます。さらに、児童文学の洋書を読んでいくことで、英語の総合力を高めます。プリントも使用する予定です。		
授業到達目標	到達目標：テキストの英語を辞書なしでも読めることを目指します。		
授業方法（学習指導法）	<p>授業方法（学習指導法）：演習形式で行います。指定されたテキストの問題を解きながら、その内容を理解していきます。授業の最初にはリスニングや、速読能力を高める問題を行います。毎回指定された量の自宅学習が必要とされます。</p> <p>授業の最初には復習のプリントを行います。次にEnglish Proficiency Testを解き、その後洋書を読んでいきます。必ず指定され部分を予習しておいてください。指示された内容を調べるとも課題となります。途中関連する映像も紹介する予定です。</p>		
	回	内容	
	1	第1回：オリエンテーション 速読・Pracatice Test 1	
	2	第2回：復習・Practice Test 2 Reading 1回目	
	3	第3回：復習・Practice Test 3 Reading 2回目	
	4	第4回：復習・Practice Test 4 Reading 3回目	
	5	第5回：復習・Practice Test 5 Reading 4回目	
	6	第6回：3step小テスト1回目 復習・Practice Test 6 Reading 5回目	

授業内容	7	第7回：復習・Practice Test 7 Reading 6回目
	8	第8回：復習・Practice Test 8 Reading 7回目
	9	第9回：復習・Practice Test 9 Reading 8回目
	10	第10回：復習・Practice Test 10 Reading 9回目
	11	第11回：復習・まとめ1 Reading 10回目
	12	第12回：3step小テスト2回目 復習・まとめ2 Reading 11回目
	13	第13回：G-TELPテスト Reading 12回目
	14	第14回：復習・まとめ3 Reading 13回目
	15	第15回：復習・総まとめ
	16	第16回：定期試験
キーワード	総合英語	
教科書・教材・参考書	English Proficiency Test (南雲堂) 2,100円位 Louis Sachar 著 書名：Holes 791円位 (第一回目の授業時に教室にて販売します。)	
成績評価の方法・基準等	定期試験50% 授業中の小テスト10% G-TELPテスト20% 課外学習のe-learning 20% (3Step CALL 10% PowerWords 10%) 定期テストには、遅刻・欠席・授業中の態度も含まれます。	
受講要件 (履修条件)	定期試験の受験資格は規定による。教科書は2冊とも購入すること。遅刻厳禁。携帯電話等は授業開始時間になったら使用を禁ずる。	
備考 (URL)		
学生へのメッセージ	毎回決められた分量の英文を読んで、英語の楽しさを味わってもらいたいと思います。併せて、読む・聞く・書く・話すの総合力を身に付けてもらいたいと思います。	



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590009017	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語Ⅰ(E1)		
編集担当教員	加島 巧		
授業担当教員名(科目責任者)	加島 巧		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	加島 巧		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-33		
対象学生（クラス等）	(T6)		
担当教員Eメールアドレス	kashima@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	授業時間の前後		
授業の概要及び位置づけ	ねらい：二種類のテキストを使い、さまざまな練習問題を解いて行きます。さらに、児童文学の洋書を読んでいくことで、英語の総合力を高めます。プリントも使用する予定です。		
授業到達目標	到達目標：テキストの英語を辞書なしでも読めることを目指します。		
授業方法（学習指導法）	授業方法（学習指導法）：演習形式で行います。指定されたテキストの問題を解きながら、その内容を理解していきます。授業の最初にはリスニングや、速読能力を高める問題を行います。毎回指定された量の自宅学習が必要とされます。		
	授業の最初には復習のプリントを行います。次にEnglish Proficiency Testを解き、その後洋書を読んでいきます。必ず指定され部分を予習しておいてください。指示された内容を調べるとも課題となります。途中関連する映像も紹介する予定です。		
	回	内容	
	1	第1回：オリエンテーション 速読・Pracatice Test 1	
	2	第2回：復習・Practice Test 2 Reading 1回目	
	3	第3回：復習・Practice Test 3 Reading 2回目	
	4	第4回：復習・Practice Test 4 Reading 3回目	
	5	第5回：復習・Practice Test 5 Reading 4回目	
	6	第6回：3step小テスト1回目 復習・Practice Test 6 Reading 5回目	

授業内容	7	第7回：復習・Practice Test 7 Reading 6回目
	8	第8回：復習・Practice Test 8 Reading 7回目
	9	第9回：復習・Practice Test 9 Reading 8回目
	10	第10回：復習・Practice Test 10 Reading 9回目
	11	第11回：復習・まとめ1 Reading 10回目
	12	第12回：3step小テスト2回目 復習・まとめ2 Reading 11回目
	13	第13回：G-TELPテスト Reading 12回目
	14	第14回：復習・まとめ3 Reading 13回目
	15	第15回：復習・総まとめ
	16	第16回：定期試験
キーワード	総合英語	
教科書・教材・参考書	English Proficiency Test (南雲堂) 2,100円位 Louis Sachar 著 書名：Holes 791円位 (第一回目の授業時に教室にて販売します。)	
成績評価の方法・基準等	定期試験50% 授業中の小テスト10% G-TELPテスト20% 課外学習のe-learning 20% (3Step CALL 10% PowerWords 10%) 定期テストには、遅刻・欠席・授業中の態度も含まれます。	
受講要件 (履修条件)	定期試験の受験資格は規定による。教科書は2冊とも購入すること。遅刻厳禁。携帯電話等は授業開始時間になったら使用を禁ずる。	
備考 (URL)		
学生へのメッセージ	毎回決められた分量の英文を読んで、英語の楽しさを味わってみたいと思います。併せて、読む・聞く・書く・話すの総合力を身に付けてみたいと思います。	



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	火3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590009018	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語Ⅰ(E6)		
編集担当教員	吉村 宗司		
授業担当教員名(科目責任者)	吉村 宗司		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	吉村 宗司		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養G棟]G-38		
対象学生（クラス等）			
担当教員Eメールアドレス	soshi@tea.ocn.ne.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	授業終了後（14:20～14:40／授業時の教室）		
授業の概要及び位置づけ	<p>対話や会話といった、コミュニケーションを主要目的とする言葉のやりとりについては、なによりも相手を理解するための聴解力を基盤に持つことが必要である。発話力というのも聴解力あつての発話力であつて、聴解力さえ身につけば、発話力はそれに応じて自然にその進歩が期待できるものである。本講座では、これまで聞くことにあまり時間を割いてこなかった学校教育の弊害を可能な限り克服する意味で、サバイバル英語（米語）-必要最低限の英語（米語）-を徹底的に学びながら、聴解力と発話力の増強を図ることを第一義的な目的に据えるものである。位置づけとしては、その能力促進に力点を置いたものと言える。</p>		
授業到達目標	<p>本講座の受講によって、これまで英米語のリスニングに際し、疑問であったことが解消されるはずである。また、受講者のトレーニング次第では、外国人との英会話をはじめ、洋楽、映画、英語ニュースの視聴時に、上達の喜びを体感できるものと思われる。『英語が止まって聞こえる』ようになることが究極の目標であるが、英語国民と円滑なコミュニケーションを図ることができるレベルのリスニング力とスピーキング力を習得することが当座の目標である。また、並行してTOEICテストや各種英語検定試験などのリスニング部門で高得点をあげるとともに、特にTOEICテストのスコアでは600点を突破する実用英語運用能力を習得することを目標に掲げたい。</p>		
授業方法（学習指導法）	<p>まずは、聴解力の増強に極めて効果的な英音・米音の音声的特徴や法則性（音法）について解説し、聴解力と発話力のバランスをとりながら、英語（米語）の運用能力を習得するトレーニングを行っていく。なお、マテリアルとしては、日常会話表現や旅行英会話、洋楽、時事（ニュース）等、実用性の高いものを取り上げていく予定である。</p>		
	<p>授業内容（概要）</p> <p>前半は、聴解力を増強させるうえで必須となる音声に関する知識の基礎固めを行なう。具体的には、基礎知識、及びリスニングに極めて有効な英音・米音の音声的特徴と法則性（音法）の習得である。中盤から後半は、リスニングとスピーキングのバランスをとりながら、発音矯正と並行して発話力の増強を目指す。限られた時間で実用英米語運用能力を促進させるトレーニングを行っていくとともに、必要に応じて比較文化的視座から文化に関する実利的なトピックも織り交ぜつつ、言語と文化を包括して共時的に学ぶことを視野に入れた解説も展開する。</p>		

	回 内容
授業内容	1 オリエンテーション（授業方針についての説明、教材の配布、アンケートほか）
	2 『なぜ日本人は英語の聞き取りが苦手なのか？』—分析結果の報告と対策法について
	3 プレテスト、つながる音とカタカナ英語、近似カナ表記、母音、半母音/j/, /w/, /r/
	4 /r/と/l/の発音、子音、調音形式、調音点、有声音と無声音、閉鎖音についての解説
	5 子音の分類表を基にした音素に関する基礎知識の確認、単語レベルの発音クリニック
	6 3step小テスト、『音の連結』を聞き取るパターン（リエゾンの原則）、/t/, /d/, /g/の脱落、/t/, /d/のラ行音化
	7 連結しない場合の/l/, /h/の脱落、半母音/j/, /n/+t/と/n/+d/による音変化
	8 『閉鎖音の連続による脱落』、『同じ子音の連続による脱落』を聞き取るパターン
	9 『同化』を聞き取るパターン(1)（半母音/j/に絡む音変化①）
	10 『同化』を聞き取るパターン(2)（半母音/j/に絡む音変化②）、『調音点が近い子音の連続』を聞き取るパターン
	11 『同化』を聞き取るパターン(3)（/n/の後続音への影響）
	12 3step小テスト、On an Airplane(1)
	13 On an Airplane(2)
	14 G-TELP実施
	15 At an Airport、洋楽を聞き取る、まとめ
	16 定期試験 ※上記授業内容に関する補足 毎回、詳細に解説を施す予定であるため、上記の進度設定を変更する場合もある。なお、基本的な音法を習得した後に旅行英会話等への応用を試みるが、解説やトレーニングに加え、比較文化的視座から実利的なトピックも交えつつ講義を進めていく。
キーワード	音法
教科書・教材・参考書	(1) 英語リスニング - 聞き取るための入門講座（ハンドアウト教材） (2) American（ハンドアウト教材）
成績評価の方法・基準等	定期試験50%、受講態度、及び授業中の自発的な演習活動（授業中の発表等）10%、G-TELP成績結果20%、課外学習のe-learning20%（3 Step CALL10%、PowerWords10%）等の総合判定によって評価を行なう。なお、課外学習のe-learningに関しては第1回目の授業の際に説明する。
受講要件（履修条件）	配布された教材に対する予習復習は必須である。特に、毎時学んだ内容に関し、毎日のトレーニングを継続させることによって、実用英米語運用能力の促進が可能となる。したがって、復習に力点を置いた学習姿勢が望まれる。なお、授業時には発表活動（積極的かつ自発的な発言等）が求められるが、これをポイント制として成績評価の際に加算するため、自主的な姿勢で臨んでほしい。
備考（URL）	
学生へのメッセージ	授業時には辞書必携です。授業時間内での学習のみで能力を促進させるには限界があるため、例えばNHK教育テレビやラジオの語学番組等を視聴、聴取するなど、とにかく毎日英語に接する時間を捻出することが望まれます。英語に親しむことを習慣にできれば上達は必ず期待できます。限られた時間ですが、一緒にがんばりましょう!!



タイトル「2014年度シラバス（教養教育科目）」、開講所属「教養教育-教養教育 英語科目」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	月4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590009019	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語Ⅰ(F3)		
編集担当教員	隈上 麻衣		
授業担当教員名(科目責任者)	隈上 麻衣		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	隈上 麻衣		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-22		
対象学生(クラス等)	F3		
担当教員Eメールアドレス	mkumagami@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	言語教育研究センター114		
担当教員TEL	819-2172		
担当教員オフィスアワー	火曜4限(メールでのアポイントメントにより随時受け付ける)		
授業の概要及び位置づけ	本授業では、下記のテキストを使用し、英文読解・聞き取り・作文を中心に学習を進める。多岐にわたるトピックに関して、簡潔にまとめ、説明・議論するために必要な語彙力や論理的思考力を養成し、英語を運用するために必要な基礎力を向上させる。		
授業到達目標	与えられた言語資料の細部まで理解する読み方・聞き方と大意を掴むための読み方・聞き方を、必要に応じて使い分けられるようになる。		
授業方法(学習指導法)	毎回小テストを実施する。 授業前半は、教科書を中心に進める。授業で扱うUnitのニュースの聞き取りまたは速読をし、キーワードを掴む。キーワードを使って要約をし、内容を理解した後、そのトピックに関して議論する。 後半は、発音のコツ、メールの書き方、会話練習等、時に教科書のトピックと関連させながら学んでいく。		
授業内容	回	内容	
	1	オリエンテーション, 自己紹介	
	2	Unit1	
	3	Unit2	
	4	Unit3	
	5	Unit4	
	6	Unit5	
	7	中間試験	
	8	Unit6	
9	Unit7		

	10	Unit8
	11	Unit9
	12	Unit10
	13	G-TELP
	14	Unit11
	15	Unit12
	16	期末試験
キーワード		
教科書・教材・参考書	TBA 初回の授業で共同購入をする。	
成績評価の方法・基準等	Attendance & Participation (10%), Quiz (20%), Midterm Exam (15%), Final Exam (15%), G-TELP (20%), e-learning (20%: 3 Step CALL and PowerWords 10% each) 【3stepの小テスト実施日程】授業の原則6回目、12回目です。	
受講要件（履修条件）	全回出席を原則とする。	
備考（URL）		
学生へのメッセージ	<p>学習するUnitには毎回目を通し、予習をした上で授業に臨むようにしてください。</p> <p>学習内容、e-learning、課題の達成度などに関して質問がある場合は、早めに教員にコンタクトをとるようにしてください。</p> <p>限られた時間の中で、より英語力を伸ばすためには明確な目標が必要です。学習方法に関する相談も随時受け付けますので気軽に相談してください。</p>	



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590009020	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語Ⅰ(E2)		
編集担当教員	隈上 麻衣		
授業担当教員名(科目責任者)	隈上 麻衣		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	隈上 麻衣		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-31		
対象学生（クラス等）	E2		
担当教員Eメールアドレス	mkumagami@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	言語教育研究センター114		
担当教員TEL	819-2172		
担当教員オフィスアワー	火曜4限（メールでのアポイントメントにより随時受け付ける）		
授業の概要及び位置づけ	本授業では、下記のテキストを使用し、英文読解・聞き取り・作文を中心に学習を進める。多岐にわたるトピックに関して、簡潔にまとめ、説明・議論するために必要な語彙力や論理的思考力を養成し、英語を運用するために必要な基礎力を向上させる。		
授業到達目標	与えられた言語資料の細部まで理解する読み方・聞き方と大意を掴むための読み方・聞き方を、必要に応じて使い分けられるようになる。		
授業方法（学習指導法）	毎回小テストを実施する。 授業前半は、教科書を中心に進める。授業で扱うUnitのニュースの聞き取りまたは速読をし、キーワードを掴む。キーワードを使って要約をし、内容を理解した後、そのトピックに関して議論する。 後半は、発音のコツ、メールの書き方、会話練習等、時に教科書のトピックと関連させながら学んでいく。		
授業内容	回	内容	
	1	オリエンテーション, 自己紹介	
	2	Unit1	
	3	Unit2	
	4	Unit3	
	5	Unit4	
	6	Unit5	
	7	中間試験	
	8	Unit6	
9	Unit7		

	10	Unit8
	11	Unit9
	12	Unit10
	13	G-TELP
	14	Unit11
	15	Unit12
	16	期末試験
キーワード		
教科書・教材・参考書	TBA 初回授業で共同購入をする。	
成績評価の方法・基準等	Attendance & Participation (10%), Quiz (20%), Midterm Exam (15%), Final Exam (15%), G-TELP (20%), e-learning (20%: 3 Step CALL and PowerWords 10% each) 【3stepの小テスト実施日程】授業の原則6回目、12回目です。	
受講要件（履修条件）	全回出席を原則とする。	
備考（URL）		
学生へのメッセージ	<p>学習するUnitには毎回目を通し、予習をした上で授業に臨むようにしてください。</p> <p>学習内容、e-learning、課題の達成度などに関して質問がある場合は、早めに教員にコンタクトをとるようにしてください。</p> <p>限られた時間の中で、より英語力を伸ばすためには明確な目標が必要です。学習方法に関する相談も随時受け付けますので気軽に相談してください。</p>	



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590009021	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語Ⅰ(L4)		
編集担当教員	古場 なおみ		
授業担当教員名(科目責任者)	古場 なおみ		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	古場 なおみ		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-31		
対象学生(クラス等)	教育(L4)		
担当教員Eメールアドレス	kobaknke@yahoo.co.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	講義の前後		
授業の概要及び位置づけ	(1)世界からの身近なトピックを題材にした教材を用い、生きた英語に触れ、また、語彙、リスニング、読解、スピーキング等のエクササイズによって総合的な英語力の向上をはかる。(2)アメリカのテレビニュース番組の英語の特徴に慣れ親しむ。		
授業到達目標	国際的なコミュニケーションの道具としての英語力を身につける。		
授業方法(学習指導法)	講義形式でテキストを進める。		
授業内容	回	内容	
	1	自己紹介、授業の進め方、評価等の説明	
	2	ABC World News 16 テレビニュース英語とは & Unit 1 (Loss of Hearing)	
	3	ABC World News 16, Unit 1 (Loss of Hearing)	
	4	ABC World News 16, Unit 3 (Dear Santa)	
	5	ABC World News 16, Unit 3 (Dear Santa) & Unit 4 (Tiffany vs. Costco)	
	6	ABC World News 16, Unit 4 (Tiffany vs. Costco)	
	7	ABC World News 16, Unit 6 (Real Answers: Hand Sanitizers vs. Soap)	
	8	ABC World News 16, Unit 6 (Real Answers: Hand Sanitizers vs. Soap) & Unit 8 (Incoming:Asteroid)	
	9	ABC World News 16, Unit 8 (Incoming:Asteroid)	
	10	ABC World News 16, Unit 10 (So Long Saturday:Mail Delivery Ends)	
	11	ABC World News 16, Unit 10 (So Long Saturday:Mail Delivery Ends) & Unit 11 (Driving Drowsy)	
	12	ABC World News 16, Unit 11 (Driving Drowsy)	

	13	G-TELP
	14	ABC World News 16, Unit 15 (Future Fish:Taste of the Future?)
	15	ABC World News 16, Unit 15 (Future Fish:Taste of the Future?) & Review
	16	期末試験
キーワード	テレビニュース英語	
教科書・教材・参考書	ABC World News 16 (KINSEIDO)	
成績評価の方法・基準等	教員評価分60%(定期試験70%、小テスト、出席、授業への取り組み30%) G-TELP20%, e-learningの評価 (1)Power Wordsの指定されたレベルの50ユニットを15週で修了すること※10%、(2)3 STEP CALL System を15週で15時間以上学修すること (授業の6回目3step小テスト、授業の12回目3step小テスト) ※10%	
受講要件 (履修条件)	毎回、予習の上で授業に臨むこと。5回欠席 (2回遅刻で1回欠席とみなす) で失格とする。	
備考 (URL)		
学生へのメッセージ	授業で指示	



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	月 4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590009022	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語Ⅰ(L3)		
編集担当教員	小笠原 真司		
授業担当教員名(科目責任者)	小笠原 真司		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	小笠原 真司		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養C棟]C-35(call1)		
対象学生(クラス等)	(L3)		
担当教員Eメールアドレス	ogasa-s@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	環境科学部1階		
担当教員TEL	095-819-2094		
担当教員オフィスアワー	火4 水3 木3		
授業の概要及び位置づけ	このクラスは、環境・医療・健康・食品関係のCNNのニュース素材を用いて、リスニング力やリーディング力および専門に関する語彙力の養成を行います。また、音読の訓練も行い、スピーキングの基礎訓練も行います。		
授業到達目標	テキストの英文を辞書なしでも大意がとれるようにします。語彙レベルでは、テキストで指定されたKey Words およびVocabulary Check で登場する計 約300語を確実に修得します。e-learning 教材パワーワーズレベル3の英単語90%を修得します。3Step 教材は、20時間以上学習してもらいます。		
授業方法(学習指導法)	<p>演習形式で行います。テキストのリスニング教材では、CALL教室の機能を用いて、いろいろな方法でCNNを聞き取る練習をします。また、リーディング用教材では、大意を取る練習をしながら、速読の訓練をします。</p> <p>CNNのテキストと同時に授業中にも、3 Step教材の指導もします。課題学習の整理やテストなどを行います。パワーワーズも、指定したレベルを定期的に試験します。</p> <p>またコミュニケーション活動用のプリントを利用して、リスニングの練習やリピーティングやシャドーイングの訓練も行い、4技能の修得を目指します。</p>		
	<p>授業の最初は、まず家庭学習のe-learning教材の小テストを行います。</p> <p>それが終わると、しばらく3 Step 教材に挑戦します。CALL教室の機能を利用して、とことん聞き取る練習をします。指定された範囲の部分は、かならず家で学習してきてください。</p> <p>その後、テキストを用いて、リスニングおよびリーディングの練習をします。学生は指示された範囲や内容を必ず予習して授業に参加してください。ここでは、音読の練習も行います。英語のリズムや音から英語を学ぶことも大切です。また、このテキストを用いて、時間を制限して読んでもらい、大意をつかみ、必要な情報を読み取る練習をします。</p> <p>また、プリントとCDを用いて専門分野の英単語の修得も行ないます。</p> <p>英語の力を維持し、さらに向上させるためには、大学での授業に加えて家庭での学習が必要となります。授業の一部を利用してe-learning教材にも挑戦してもらいますが、大半は授業外での学習となります。その成果は、小テストにより評価します。</p> <p>担当者から指示された家庭学習や予習復讐を行えば、必ず英語の力は向上します。がんばっ</p>		

てください。

授業内容

回	内容
1	オリエンテーション 教科書 Unit 1. e-learning Power Words Level 3 Unit.1 3 Step First Listening
2	教科書 Unit 2. 専門英語語彙 (1) e-learning Power Words Level 3 Unit.2~4 3 Step First Listening
3	教科書 Unit 3. 専門英語語彙 (2) e-learning Power Words Level 3 Unit.5~8 3 Step First Listening
4	教科書 Unit 4. 専門英語語彙 (3) e-learning Power Words Level 3 Unit.9~12 3 Step First Listening
5	教科書 Unit 5. 専門英語語彙 (4) e-learning Power Words Level 3 Unit.13~16 3 Step First Listening
6	教科書 Unit 6. 専門英語語彙 (5) e-learning Power Words Level 3 Unit.17~20 3 Step First Listening 3 Step 小テスト
7	教科書 Unit 7. 専門英語語彙 (6) e-learning Power Words Level 3 Unit.21~24 3 Step First Listening
8	教科書 Unit 8. 専門英語語彙 (7) e-learning Power Words Level 3 Unit.25~28 3 Step First Listening
9	教科書 Unit 9. 専門英語語彙 (8) e-learning Power Words Level 3 Unit.29~32 3 Step First Listening
10	教科書 Unit 10. 専門英語語彙 (9) e-learning Power Words Level 3 Unit.33~36 3 Step First Listening
11	教科書 Unit 11. 専門英語語彙 (10) e-learning Power Words Level 3 Unit.37~40 3 Step First Listening
12	教科書 Unit 12. 専門英語語彙 (11) e-learning Power Words Level 3 Unit.41~43 3 Step First Listening 3 Step 小テスト
13	G-TELP 試験
14	教科書 Unit 13. 専門英語語彙 (12) e-learning Power Words Level 3 Unit.44~47 3 Step First Listening

	15	教科書 Unit 14. 専門英語語彙 (13) e-learning Power Words Level 3 Unit.48~50 3 Step First Listening
	16	定期試験
キーワード	スキミング、スキャニング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、リピーティング	
教科書・教材・参考書	教科書（テキスト）： Power Up Your English with CNN News（朝日出版） 1,800円 教材：プリント教材 必要に応じて毎回配布します。	
成績評価の方法・基準等	成績評価は、 ○定期試験50%、G-TELP20%、e-learning 20%(小テスト含む) 授業中の発表10%で行います。	
受講要件（履修条件）	全回出席が原則。教科書も必ず購入すること(ワークブックとして、時々提出してもらいます)。	
備考（URL）		
学生へのメッセージ	英語の力をつけるためには、授業の予習、復習に加えて、自分で英語学習時間を作り出し、英語の教材にチャレンジすることが大切です。長崎大学で推奨しているe-learning 教材の3 Step やパワーワーズ、さらにNHKテレビやラジオの英語講座がおすすめです。	

[▲戻る](#)

タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	木 4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590009023	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語Ⅰ(M2)		
編集担当教員	小笠原 真司		
授業担当教員名(科目責任者)	小笠原 真司		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	小笠原 真司		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養C棟]C-35(call1)		
対象学生（クラス等）	(M2)		
担当教員Eメールアドレス	ogasa-s@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	環境科学部1階		
担当教員TEL	095-819-2094		
担当教員オフィスアワー	火4 水3 木3		
授業の概要及び位置づけ	このクラスは、環境・医療・健康・食品関係の英字新聞のニュース素材を用いて、リスニング力やリーディング力および専門に関する語彙力の養成を行います。また、音読の訓練も行い、スピーキングの基礎訓練も行います。		
授業到達目標	テキストの英文を辞書なしでも大意がとれるようにします。語彙レベルでは、テキストで指定されたVocabulary 約180語およびNotes で登場する約 220語を確実に修得します。 e-learning 教材パワーワーズレベル5の英単語90%を修得します。3Step 教材は、20時間以上学習してもらいます。		
授業方法（学習指導法）	<p>演習形式で行います。テキストのリーディング用教材を用いて、大意を取る練習をしながら、速読の訓練をします。また、教材によっては、ゆっくりと正確に読む練習もします。</p> <p>テキストと同時に授業中にも、3 Step教材の指導もします。課題学習の整理やテストなどを行います。パワーワーズも、指定したレベルを定期的に試験します。</p> <p>またコミュニケーション活動用のプリントを利用して、リスニングの練習やリピーティングやシャドーイングの訓練も行い、4技能の修得を目指します。</p>		
	<p>授業の最初は、まず家庭学習のe-learning教材の小テストを行います。</p> <p>それが終わると、しばらく3 Step 教材に挑戦します。CALL教室の機能を利用して、とことん聞き取る練習をします。指定された範囲の部分は、かならず家で学習してきてください。</p> <p>その後、テキストを用いて、リスニングおよびリーディングの練習をします。学生は指示された範囲や内容を必ず予習して授業に参加してください。ここでは、音読の練習も行います。英語のリズムや音から英語を学ぶことも大切です。また、このテキストを用いて、時間を制限して読んでもらい、大意をつかみ、必要な情報を読み取る練習をします。</p> <p>また、プリントとCDを用いて専門分野の英単語の修得も行ないます。</p> <p>英語の力を維持し、さらに向上させるためには、大学での授業に加えて家庭での学習が必要となります。授業の一部を利用してe-learning教材にも挑戦してもらいますが、大半は授業外での学習となります。その成果は、小テストにより評価します。</p> <p>担当者から指示された家庭学習や予習復讐を行えば、必ず英語の力は向上します。がんばってください。</p>		

授業内容

回	内容
1	オリエンテーション 教科書 Unit 1. e-learning Power Words Level 5 Unit.1 3 Step New York Live
2	教科書 Unit 2. 専門英語語彙 (1) e-learning Power Words Level 5 Unit.2~4 3 Step New York Live
3	教科書 Unit 3. 専門英語語彙 (2) e-learning Power Words Level 5 Unit.5~8 3 Step New York Live
4	教科書 Unit 4. 専門英語語彙 (3) e-learning Power Words Level 5 Unit.9~12 3 Step New York Live
5	教科書 Unit 5. 専門英語語彙 (4) e-learning Power Words Level 5 Unit.13~16 3 Step New York Live
6	教科書 Unit 6. 専門英語語彙 (5) e-learning Power Words Level 5 Unit.17~20 3 Step New York Live 3 Step 小テスト
7	教科書 Unit 7. 専門英語語彙 (6) e-learning Power Words Level 5 Unit.21~24 3 Step New York Live
8	教科書 Unit 8. 専門英語語彙 (7) e-learning Power Words Level 5 Unit.25~28 3 Step New York Live
9	教科書 Unit 9. 専門英語語彙 (8) e-learning Power Words Level 5 Unit.29~32 3 Step New York Live
10	教科書 Unit 10. 専門英語語彙 (9) e-learning Power Words Level 5 Unit.33~36 3 Step New York Live
11	教科書 Unit 11. 専門英語語彙 (10) e-learning Power Words Level 5 Unit.37~40 3 Step New York Live
12	教科書 Unit 12. 専門英語語彙 (11) e-learning Power Words Level 5 Unit.41~43 3 Step New York Live 3 Step 小テスト
13	G-TELP 試験
14	教科書 Unit 13. 専門英語語彙 (12) e-learning Power Words Level 5 Unit.44~47 3 Step New York Live
	教科書 Unit 14.

	15	専門英語語彙 (13) e-learning Power Words Level 5 Unit.48~50 3 Step New York Live
	16	定期試験
キーワード	スキミング、スキヤニング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、リピーティング	
教科書・教材・参考書	教科書（テキスト）： The World We Live In（英宝社） 1,800円 教材：プリント教材 必要に応じて毎回配布します。	
成績評価の方法・基準等	成績評価は、 ○定期試験50%、G-TELP20%、e-learning 20%(小テスト含む) 授業中の発表10%で行います。	
受講要件（履修条件）	全回出席が原則。教科書も必ず購入すること(ワークブックとして、時々提出してもらいます)。	
備考（URL）		
学生へのメッセージ	英語の力をつけるためには、授業の予習、復習に加えて、自分で英語学習時間を作り出し、英語の教材にチャレンジすることが大切です。長崎大学で推奨しているe-learning 教材の3 Step やパワーワーズ、さらにNHKテレビやラジオの英語講座がおすすめです	



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	月 4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590009024	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語Ⅰ (F1)		
編集担当教員	西原 俊明		
授業担当教員名(科目責任者)	西原 俊明		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	西原 俊明		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養C棟]C-36(call2)		
対象学生 (クラス等)	(F1)		
担当教員Eメールアドレス	t-nishi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	言語教育研究センター110		
担当教員TEL	095-819-2095		
担当教員オフィスアワー	火曜日12:50~13:30 他は、only by appointment		
授業の概要及び位置づけ	基礎的な英語運用能力を高めることを授業のねらいとする。特に、音声言語によるコミュニケーション能力向上を目指す。また、既習の語彙を用いた表現力の幅をひろげるため、Plain Englishに関する講義を併せて行い、表現力向上を目指す。		
授業到達目標	授業を通して、種々の速読のスキル、リスニングストラテジー、英語によるコミュニケーション活動に慣れ、基礎的なコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。		
授業方法 (学習指導法)	授業の前半では、日本人学習者が抱えるリスニング上の問題点を理解する訓練、速読の訓練、表現力を養うPlain Englishによる表現練習を行う。授業の後半では、前半で行う訓練を発展させたauthenticな教材・題材を用いた訓練を行う。速読の訓練では、U.S.A Today, CNN, BBCなどの記事を用いて速読のスキルの訓練をする。英語音声学・応用言語学・言語学等の知見を取り入れ、 ^h アワークやインフォメーションギャップを用いたコミュニケーション活動を中心に行う。		
	英語の獲得をスキルの獲得ととらえて、スキル獲得のための訓練を様々な手法を用いて行う。		
	回	内容	
	1	4月7日 第1回 オリエンテーション	
	2	4月14日 第2回 英語のリズム(1), 速読(phrase reading)と ^h アワーク(1)	
	3	4月21日 第3回 Voice Aerobics, 速読(phrase reading)と ^h アワーク(1)	
	4	4月28日 第4回 リズムユニットの理解とシャドーイング(1), 速読(phrase reading)	
	5	5月12日 第5回 リズムユニットの理解とシャドーイング(2), 速読(phrase reading)	

授業内容	6	5月19日 第6回 3STEP小テスト, 弱く発音される音, 速読(phrase reading),	
	7	5月26日 第7回 インフォメーションギャップによる ^h アワーク(1), 映画による聞き取り(1)	
	8	6月2日 第8回 聞こえなくなる音, 映画による聞き取り(2)	
	9	6月9日 第9回 インフォメーションギャップによる ^h アワーク(2), 映画による聞き取り(3)	
	10	6月16日 第10回 グループによるディスカッション(1), 映画による聞き取り(4)	
	11	6月23日 第11回 ひとつになる音, インフォメーションギャップによる ^h アワーク(3), 速読(phrase reading)	
	12	6月30日 第12回 3STEP小テスト, つながる音, 映画による聞き取り(5), 速読(phrase reading)	
	13	7月7日 G-TELPテスト (関係委員会審議結果によって日程変更あり)	
	14	7月14日 第13回 なくなる音, 速読(phrase reading), 映画による聞き取り(6), retelling and summarizing	
	15	7月28日 第14回 英語の音のその他の特徴(prosodic featuresを中心として), グループによるディスカッション(2)	
	16		
	キーワード	速読、Plain English、リズムユニット、音変化	
	教科書・教材・参考書	プリント教材、及び聞き取り訓練テキスト Cultural Encounters (センゲージ)	
	成績評価の方法・基準等	評価は、G-TELP(20%)、e-learning学習(3Step Listening + Power Words)(20%)、小テスト(50%)、積極的な授業への参加(10%)等を総合的に判断する。3Stepを用いてのe-Learning学習は、2回のテストでもって学習を評価し、Power Wordsはレベルを一つ上げる学習を10%とする。	
	受講要件 (履修条件)	新たに学習する内容は、きちんと復習すること！	
	備考 (URL)		
学生へのメッセージ	Plain Englishのプリント教材を復習し、小テストに備えること。		



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	火3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590009025	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語Ⅰ(G2)		
編集担当教員	西原 俊明		
授業担当教員名(科目責任者)	西原 俊明		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	西原 俊明		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養C棟]C-36(call2)		
対象学生（クラス等）	G2のみ		
担当教員Eメールアドレス	t-nishi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室			
担当教員TEL	095-819-2095		
担当教員オフィスアワー	火曜日12:50~13:30 他は、only by appointment		
授業の概要及び位置づけ	基礎的な英語運用能力を高めることを授業のねらいとする。特に、音声言語によるコミュニケーション能力向上を目指す。また、既習の語彙を用いた表現力の幅をひろげるため、Plain Englishに関する講義を併せて行い、表現力向上を目指す。		
授業到達目標	授業を通して、種々の速読のスキル、リスニングストラテジー、英語によるコミュニケーション活動に慣れ、基礎的なコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。		
授業方法（学習指導法）	授業の前半では、日本人学習者が抱えるリスニング上の問題点を理解する訓練、速読の訓練、表現力を養うPlain Englishによる表現練習を行う。授業の後半では、前半で行う訓練を発展させたauthenticな教材・題材を用いた訓練を行う。速読の訓練では、U.S.A Today, CNN, BBCなどの記事を用いて速読のスキルの訓練をする。英語音声学・応用言語学・言語学等の知見を取り入れ、 ^h アワークやインフォメーションギャップを用いたコミュニケーション活動を中心に行う。		
	英語の獲得をスキルの獲得ととらえて、スキル獲得のための訓練を様々な手法を用いて行う。		
	回	内容	
	1	4月8日 第1回 オリエンテーション	
	2	4月15日 第2回 英語のリズム(1), 速読(phrase reading)と ^h アワーク(1)	
	3	4月22日 第3回 Voice Aerobics, 速読(phrase reading)と ^h アワーク(1)	
	4	5月13日 第4回 リズムユニットの理解とシャドーイング(1), 速読(phrase reading)	
	5	5月20日 第5回 リズムユニットの理解とシャドーイング(2), 速読(phrase reading)	

授業内容	6	5月27日 第6回 3STEP小テスト, 弱く発音される音, 速読(phrase reading)	
	7	6月3日 第7回 インフォメーションギャップによる ^h アワーク(1), 映画による聞き取り(1)	
	8	6月10日 第8回 聞こえなくなる音, 映画による聞き取り(2)	
	9	6月17日 第9回 インフォメーションギャップによる ^h アワーク(2), 映画による聞き取り(3)	
	10	6月24日 第10回 グループによるディスカッション(1), 映画による聞き取り(4)	
	11	7月1日 第11回 ひとつになる音, インフォメーションギャップによる ^h アワーク(3), 速読(phrase reading)	
	12	7月8日 第12回 3STEP小テスト, つながる音, 映画による聞き取り(5), 速読(phrase reading)	
	13	7月15日 第13回 なくなる音, 速読(phrase reading), 映画による聞き取り(6)	
	14	7月22日 第14回 英語の音のその他の特徴(prosodic featuresを中心として), グループによるディスカッション(2)	
	15	7月29日 第15回 グループによるディスカッション(3)	
	16		
	キーワード	速読、Plain English、リズムユニット、音変化	
	教科書・教材・参考書	プリント教材、及び聞き取り訓練テキスト Cultural Encounters (センゲージ)	
	成績評価の方法・基準等	小テスト(70%)、e-learning (20%)、TOEFL 語彙テスト(10%)	
	受講要件 (履修条件)	新たに学習する内容は、きちんと復習すること！	
	備考 (URL)		
学生へのメッセージ	Plain Englishのプリント教材を復習し、小テストに備えること。		



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590009026	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語Ⅰ(L2)		
編集担当教員	西原 俊明		
授業担当教員名(科目責任者)	西原 俊明		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	西原 俊明		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養C棟]C-35(call1)		
対象学生(クラス等)	(L2)		
担当教員Eメールアドレス	t-nishi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室			
担当教員TEL	095-819-2095		
担当教員オフィスアワー	火曜日12:50~13:30 他は、only by appointment		
授業の概要及び位置づけ	基礎的な英語運用能力を高めることを授業のねらいとする。特に、音声言語によるコミュニケーション能力向上を目指す。また、既習の語彙を用いた表現力の幅をひろげるため、Plain Englishに関する講義を併せて行い、表現力向上を目指す。		
授業到達目標	授業を通して、種々の速読のスキル、リスニングストラテジー、英語によるコミュニケーション活動に慣れ、基礎的なコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。		
授業方法(学習指導法)	授業の前半では、日本人学習者が抱えるリスニング上の問題点を理解する訓練、速読の訓練、表現力を養うPlain Englishによる表現練習を行う。授業の後半では、前半で行う訓練を発展させたauthenticな教材・題材を用いた訓練を行う。速読の訓練では、U.S.A Today, CNN, BBCなどの記事を用いて速読のスキルの訓練をする。英語音声学・応用言語学・言語学等の知見を取り入れ、 ^h アワークやインフォメーションギャップを用いたコミュニケーション活動を中心に行う。		
	回	内容	
	1	4月9日 第1回 オリエンテーション	
	2	4月16日 第2回 英語のリズム(1), 速読(phrase reading)と ^h アワーク(1)	
	3	4月23日 第3回 Voice Aerobics, 速読(phrase reading)と ^h アワーク(1)	
	4	4月30日 第4回 リズムユニットの理解とシャドーイング(1), 速読(phrase reading)	
	5	5月7日 第5回 リズムユニットの理解とシャドーイング(2), 速読(phrase reading)	
		5月14日	

授業内容	6	第6回 3STEP小テスト、 弱く発音される音、速読(phrase reading)	
	7	5月21日 第7回 インフォメーションギャップによる ^h アワーク(1)、映画による聞き取り(1)	
	8	5月28日 第8回 聞こえなくなる音、映画による聞き取り(2)	
	9	6月4日 第9回 インフォメーションギャップによる ^h アワーク(2)、映画による聞き取り(3)	
	10	6月11日 第10回 グループによるディスカッション(1)、映画による聞き取り(4)	
	11	6月18日 第11回 ひとつになる音、インフォメーションギャップによる ^h アワーク(3)、速読(phrase reading)	
	12	6月25日 第12回 3STEP小テスト、 つながる音、映画による聞き取り(5)、速読(phrase reading)	
	13	7月2日 G-TELPテスト	
	14	7月9日 第13回 なくなる音、速読(phrase reading)、映画による聞き取り(6)、retelling and summarizing	
	15	7月16日 第14回 英語の音のその他の特徴(prosodic featuresを中心として)、グループによるディスカッション(2)	
	16		
	キーワード	速読、Plain English、リズムユニット、音変化	
	教科書・教材・参考書	プリント教材、及び聞き取り訓練テキスト Cultural Encounters (センテージ)	
	成績評価の方法・基準等	評価は、G-TELP(20%)、e-learning学習(3Step Listening + Power Words)(20%)、小テスト(50%)、積極的な授業への参加(10%)等を総合的に判断する。3Stepを用いてのe-Learning学習は、2回のテストでもって学習を評価し、Power Wordsはレベルを一つ上げる学習を10%とする。	
	受講要件 (履修条件)	新たに学習する内容は、きちんと復習すること！	
	備考 (URL)		
学生へのメッセージ	Plain Englishのプリント教材を復習し、小テストに備えること。		



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	金 3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590009027	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語Ⅰ(M1)		
編集担当教員	西原 俊明		
授業担当教員名(科目責任者)	西原 俊明		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	西原 俊明		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養C棟]C-35(call1)		
対象学生（クラス等）	(M1)		
担当教員Eメールアドレス	t-nishi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室			
担当教員TEL	095-819-2095		
担当教員オフィスアワー	火曜日12:50~13:30 他は、only by appointment		
授業の概要及び位置づけ	基礎的な英語運用能力を高めることを授業のねらいとする。特に、音声言語によるコミュニケーション能力向上を目指す。また、リスニング教材・リーディング教材として医学英語にふれる。		
授業到達目標	授業を通して、種々の速読のスキル、リスニングストラテジー、英語によるコミュニケーション活動に慣れ、基礎的なコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。また、基礎的な医学英語に関わる語彙、表現を身につける。		
授業方法（学習指導法）	授業の前半では、日本人学習者が抱えるリスニング上の問題点を理解する訓練、速読の訓練、表現力を養うPlain Englishによる表現練習を行う。授業の後半では、前半で行う訓練を発展させたauthenticな教材・題材を用いた訓練を行う。英語音声学・応用言語学・言語学等の知見を取り入れ、 [^] アワークやインフォメーションギャップを用いたコミュニケーション活動を中心に進行。医学的な話題を扱った英字新聞記事を速読する。		
	英語の獲得をスキルの獲得ととらえて、スキル獲得のための訓練を様々な手法を用いて行う。		
	回	内容	
	1	4月7日 第1回 オリエンテーション 授業の進め方、及び授業で取り上げるスキルの概要説明	
	2	4月14日 第2回 英語のリズム(1)、速読(phrase reading)と [^] アワーク(1)、医者と患者の会話(1)	
	3	4月21日 第3回 Voice Aerobics、医者と患者の会話(2)	
	4	4月28日 第4回 リズムユニットの理解とシャドーイング(1)、医者と患者の会話(3)	
	5	5月12日	

授業内容	5	第5回 リズムユニットの理解とシャドーイング(2), 医者と患者の会話(4)	
	6	5月19日 第6回 3STEP小テスト, 弱く発音される音, 医者と患者の会話(5)	
	7	5月26日 第7回 インフォメーションギャップによる ^h アワーク(1), 映画による聞き取り(1),	
	8	6月2日 第8回 聞こえなくなる音, 医者と患者の会話(5), 速読(2)	
	9	6月9日 第9回 インフォメーションギャップによる ^h アワーク(2), 医者と患者の会話(6)	
	10	6月16日 第10回 グループによるディスカッション(1), 速読(3)	
	11	6月23日 第11回 なくなる音, 医者と患者の会話(7), 速読(4)	
	12	6月30日 第12回 3STEP小テスト, ひとつになる音, インフォメーションギャップによる ^h アワーク (3)	
	13	7月7日 G-TELPテスト	
	14	7月14日 第13回 つながる音, 医者と患者の会話(8), 速読(5)	
	15	7月28日 第14回 医者と患者の会話(9), 速読(6) まとめ Retellingとsummarizing、semantic mapを用いた学習	
	16		
	キーワード	Reading and listening strategies	
	教科書・教材・参考書	Medical English Clinic (センゲージ・ラーニング)	
	成績評価の方法・基準等	評価は、G-TELP(20%)、e-learning学習(3Step Listening + Power Words)(20%)、小テスト(50%)、積極的な授業への参加(10%)等を総合的に判断する。3Stepを用いてのe-Learning学習は、2回のテストでもって学習を評価し、Power Wordsはレベルを一つ上げる学習を10%とする。小テストは医学英語表現を対象として毎回行う。	
	受講要件 (履修条件)	毎回、復習を行うこと。	
備考 (URL)			
学生へのメッセージ	実施される医学英語の小テストに備えた準備をすること。授業で紹介される聞き取りのこつ等を配布される電子化教材を用いて必ず復習すること。		



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590009028	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語Ⅰ(E4)		
編集担当教員	前川 智子		
授業担当教員名(科目責任者)	前川 智子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	前川 智子		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-24		
対象学生(クラス等)	(E4)		
担当教員Eメールアドレス	t-mae@asca-iso.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	授業の前後10分間		
授業の概要及び位置づけ	英語の読解力、音読力を高め、語彙を増やすことがねらいである。		
授業到達目標	英語エッセイの内容を理解し、英語で的確に答えることができる。派生語を理解し、語彙を増やす。 英語らしい発音・イントネーションで英文を読むことができる。		
授業方法(学習指導法)	様々の人々が書いたエッセイを読み、内容を深く理解する。内容把握問題を解くと同時に、本文のoverlapping, shadowingを通して、英語らしい読み方を習得する。派生語を中心に語彙力を養成する。各章の総まとめとして、空所補充形式のリスニング問題を行い、リスニング力と共に語彙力を確認する。		
授業内容	回	内容	
	1	Orientation 教科書販売 /、英語構成法	
	2	Ch.1: September 11 (語彙・読解問題、音読、リスニング)	
	3	Ch.2: Beyond “September 11” (語彙・読解問題、音読、リスニング)	
	4	Ch.3: The Stone Walk (語彙・読解問題、音読、リスニング) /	
	5	Ch.4: Students’ Power in the Stone Walk (語彙・読解問題、音読、リスニング)	
	6	リスニング小テスト(1) Review (Ch. 1~4)、ビデオ観賞 / Ch. 5:Japan and My Family (語彙)	
	7	Ch. 5:Japan and My Family (読解問題、音読、リスニング)	
	8	Ch.6: The Japan that I love (語彙)	

	9	Ch.6: The Japan that I love (読解問題、音読、リスニング)
	10	Ch.7:Paper Sculpture (語彙・読解問題、音読、リスニング)
	11	Ch.8:The tour of the exhibition (語彙・読解問題、音読、リスニング)
	12	リスニング小テスト(2) Ch.11: Prayer for Peace (語彙・読解問題、音読、リスニング)
	13	G-TELP テスト
	14	Ch.12: Japanese Young Volunteers in America (語彙・読解問題、音読、リスニング)
	15	授業のまとめと復習
	16	期末テスト
キーワード	語彙力、読解力	
教科書・教材・参考書	「Peace Talk」(開文社出版、前川智子編著、Andrea LeBlanc外著)	
成績評価の方法・基準等	G-TELPテスト(20%) / E-Learning [リスニング小テストを含む](20%) 期末テスト(50%) / 毎週の課題・授業中の活動(10%)	
受講要件(履修条件)	全回出席が原則。正当な理由があっても、欠席が5回となると失格する。30分以上の遅刻・早退は原則として欠席扱いとする。	
備考(URL)		
学生へのメッセージ	毎回宿題(教科書の練習問題)を出すので、それを行った上で授業に臨むこと。	



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	木 3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590009029	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語Ⅰ(T1)		
編集担当教員	村岡 三奈子		
授業担当教員名(科目責任者)	村岡 三奈子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	村岡 三奈子		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-32		
対象学生（クラス等）	(T1)		
担当教員Eメールアドレス	muraoka@n-junshin.ac.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL	095-846-0084		
担当教員オフィスアワー	随時		
授業の概要及び位置づけ	映画を教材として、場面や状況に応じた生きた英語表現を身につけることを目指す。		
授業到達目標	基本的構文および文法事項に留まらず、生きた英語表現や文化的知識を身につけることが出来る。		
授業方法（学習指導法）	原則として、毎週、テキストを1章ずつ進めながら、英語の4技能をバランスよく学習する。		
授業内容	回	内容	
	1	4月10日：イントロダクション	
	2	4月17日：第1章	
	3	4月24日：第2章	
	4	5月1日：第3章	
	5	5月8日：第4章	
	6	5月15日：第5章 / 3-step 小テスト	
	7	5月22日：第6章	
	8	5月29日：第7章	
	9	6月5日：第8章	
	10	6月12日：第9章	
	11	6月19日：第10章	
	12	6月26日：第11章 / 3-step 小テスト	
	13	7月3日：G-TELP	

	14	7月10日：第12章
	15	7月17日：プレゼンテーション
	16	7月24日：定期試験
キーワード	Comprehensive English	
教科書・教材・参考書	About a Boy (SHOHAKUSHA)	
成績評価の方法・基準等	出席・授業態度：10% 小テスト：10% G-TELPテスト：20% 定期試験：40% 課外学習の e-learning：20% (詳細は第1回目の授業で説明)	
受講要件 (履修条件)	特になし	
備考 (URL)		
学生へのメッセージ	毎回、授業のはじめに単語クイズをしますので、テキストの該当箇所を予習して臨んでください。	



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	月 4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590009030	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語Ⅰ(F2)		
編集担当教員	大坪 有実		
授業担当教員名(科目責任者)	大坪 有実		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	大坪 有実		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-31		
対象学生（クラス等）	F2		
担当教員Eメールアドレス	r_otsubo@hotmail.co.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	金曜日 非常勤講師控室 12:00～12:45		
授業の概要及び位置づけ	未来のバイオ燃料、医療ツーリズム、ファストファッションなど、現代人がこれからの快適な生活を送る上で欠かせないテーマを取り上げ、今、何が話題になっているのか、今の流れを掴んでいく。		
授業到達目標	英文法の再確認を通して、英文を正確に理解することができるようになる。		
授業方法（学習指導法）	まず、既習英文法を講義形式で再確認。さらに練習問題を通して理解の定着を確認する。そして、英文読解に入り、最後に確認問題を通し、理解度を測る。		
	海洋生物の多様性、医療ツーリズム、ファストファッション等、話題の話を通し、今を知る。		
	回	内容	
	1	Introduction 授業の進め方、諸注意等	
	2	Sentence Patternの再確認 英文読解：Mao Asada	
	3	Noun and Pronounの再確認 英文読解：Eri Fukatsu	
	4	Verbの再確認 英文読解：Takashi Murakami	
	5	Auxiliary Verbの再確認 英文読解：Two World Champions	
	6	3 Step小テスト Participleの再確認 英文読解：Tokyo Skytree	
	7	Progressive Formの再確認	

授業内容		英文読解：Ocean Biodiversity
	8	Perfect Tenseの再確認 英文読解：Hayabusa
	9	Passive Voiceの再確認 英文読解：Green Technology
	10	Infinitiveの再確認 英文読解：Rice
	11	Gerundの再確認 英文読解：Biofuel
	12	3 Step小テスト Adjectiveの再確認 英文読解：Medical Tourism
	13	G TELP
	14	Comparisonの再確認 英文読解：E-Books
	15	Conjunctionの再確認 英文読解：Secondhand Markets
	16	定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書	VITALITY OF JAPAN 活力あふれる日本 南雲堂 ￥1,900+税	
成績評価の方法・基準等	G-TELP 20% e-learning 20% 定期試験（授業の積極的な取り組み含む）60%	
受講要件（履修条件）	原則、前回授業出席を単位認定の要件とする。	
備考（URL）		
学生へのメッセージ	新聞やテレビ等で定期的にニュースをチェックすることやニュースを英語吹き替えにすることがこの授業の内容の理解を深めるために有用である。	



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	金 3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590009031	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語Ⅰ(T8)		
編集担当教員	大坪 有実		
授業担当教員名(科目責任者)	大坪 有実		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	大坪 有実		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-31		
対象学生（クラス等）	T8		
担当教員Eメールアドレス	r_otsubo@hotmail.co.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	非常勤講師控室 金曜日 12:00～12:45		
授業の概要及び位置づけ	腕時計型GPS装置、乳酸菌の宇宙実験など、日本を代表する企業の取り組みを通し、最先端の科学・技術についての理解を深める。		
授業到達目標	表・グラフ・仕様書・工程図など科学・技術関連で使用される英語表現を身に付け、これらを理解し、自分でも英語運用ができるようになる。		
授業方法（学習指導法）	理工系で使用頻度の高い語の理解をInnovative Vocabularyを通して高める。続いて、予習してきた英文解釈を口頭発表してもらい、文法等の解説を加え、更なる理解をはかる。		
授業内容	理工系の語彙力強化、最先端の科学・技術について理解を深める。		
	回	内容	
	1	Introduction 授業の進め方、諸注意等	
	2	Design First!	
	3	Meeting Athletes' Needs	
	4	Seven Years in the Making	
	5	MEISTeR to the Rescue	
	6	3 Step 小テスト Space Station Science	
	7	Renewing Plastics	
	8	Directing the Blind	
	9	Music and Architecture in Harmony	
10	Painless Injections		

	11	Tsunami Defense
	12	3 Step 小テスト Improving Business Performance
	13	G-TELP
	14	An Efficient Refrigerant
	15	Atmospheric Observation
	16	定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書	Japan's Skyline 金星堂 ¥1,900+税	
成績評価の方法・基準等	G TELP 20% e-learning 20% 定期試験（授業への積極的な取り組み含む）60%	
受講要件（履修条件）	原則的に、全回出席することが単位認定の要件とする。	
備考（URL）		
学生へのメッセージ	新聞やテレビ等で定期的にニュースをチェックすることやニュースを英語吹き替えにすることがこの授業の内容の理解を深めるために有用である。	



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590009032	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語Ⅰ(K2)		
編集担当教員	中村 史花		
授業担当教員名(科目責任者)	中村 史花		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	中村 史花		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-42		
対象学生（クラス等）	(K2)		
担当教員Eメールアドレス	arthur410@hotmail.co.jp(必ず件名に授業科目、学生番号、氏名を記入すること)		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL	arthur410@hotmail.co.jp		
担当教員オフィスアワー	水曜昼休み		
授業の概要及び位置づけ	リスニングを主とするが、リーディングのタスクも同時に行い、受信発信技能の向上を目指す。予習してきた内容に基づいて授業を進めていく。英語の音の特徴を確認し、ディクテーションや音読など、英語を聞き・読む訓練をする。		
授業到達目標	基本的な文法・構文・表現方法を習得し、英語を正しく理解することができる。自分が必要とする情報を正しく適切に入手することができる。		
授業方法（学習指導法）	授業には十分を予習をして臨み、必ず辞書を持参してください（通話・メール機能の付いた電子機器の電子辞書としての使用不可）。問題の解答だけでなく、英文解釈や英文音読なども毎回無作為に指名して発表してもらい。英語の音の特徴を確認するとともに、ディクテーションや音読など、英語を聞き・読む訓練をする。それぞれの問題のポイントと重要文法事項を解説する。		
授業内容	回	内容	
	1	英語のニュースを読む	
	2	数字：大きい数、小さい数	
	3	数字：年月日	
	4	数字：お金	
	5	数字：年齢	
	6	数字：時間 3step小テスト	
	7	数字：慣用表現	
	8	1-7回の授業の確認	
	9	音のつながり：連結	
10	音のつながり：脱落		

	11 音のつながり：同化
	12 音のつながり：まとめ 3step小テスト
	13 発表
	14 GTELP
	15 9-13回の授業のまとめ
	16 定期試験
キーワード	リスニング、音読
教科書・教材・参考書	大塚朝美『English Sound Box』金星堂 1950円(税別) *初回の授業時に教室で教科書販売があります。2回目以降の授業には必ずテキスト本体を入手して出席してください。
成績評価の方法・基準等	定期試験40%、課題（ペアでの会話発表）10%、積極的な授業への参加状況10%、G-TELP20%、E-Learning20%(3StepCALL10%、PowerWords10%) 課外学習のE-Learningに関しては第1回目の授業の際に説明します。
受講要件（履修条件）	3分の2以上の出席がなければ受験資格を失います(入院・出席停止の伝染病等を除き病欠も欠席扱いとします)。正当な理由で欠席する場合は、その証明となる書類を提出してください(コピー可)。
備考 (URL)	
学生へのメッセージ	1度で完全に聞き取れる人はなかなかいないですから何度でも繰り返し聞いてください。1日10回、15回・それを2日、3日と続けて行くうちに、少しずつ英語の音が耳に入っていくようになります。最初は一つの単語、一つの母音・子音だけでも構わないので、聞き取れた音を書き取ってみてください。継続していけば、必ず書き取れる量が増えていきます。それで自分が聞き取れるようになっていっていることが確認できると思います。



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590009033	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語Ⅰ(E3)		
編集担当教員	中村 史花		
授業担当教員名(科目責任者)	中村 史花		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	中村 史花		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-42		
対象学生（クラス等）	(E3)		
担当教員Eメールアドレス	arthur410@hotmail.co.jp(必ず件名に授業科目、学生番号、氏名を記入すること)		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL	arthur410@hotmail.co.jp		
担当教員オフィスアワー	水曜昼休み		
授業の概要及び位置づけ	リスニングを主とするが、リーディングのタスクも同時に行い、受信発信技能の向上を目指す。予習してきた内容に基づいて授業を進めていく。英語の音の特徴を確認し、ディクテーションや音読など、英語を聞き・読む訓練をする。		
授業到達目標	基本的な文法・構文・表現方法を習得し、英語を正しく理解することができる。自分が必要とする情報を正しく適切に入手することができる。		
授業方法（学習指導法）	授業には十分を予習をして臨み、必ず辞書を持参してください（通話・メール機能の付いた電子機器の電子辞書としての使用不可）。問題の解答だけでなく、英文解釈や英文音読なども毎回無作為に指名して発表してもらい。英語の音の特徴を確認するとともに、ディクテーションや音読など、英語を聞き・読む訓練をする。それぞれの問題のポイントと重要文法事項を解説する。		
授業内容	回	内容	
	1	英語のニュースを読む	
	2	数字：大きい数、小さい数	
	3	数字：年月日	
	4	数字：お金	
	5	数字：年齢	
	6	数字：時間 3step小テスト	
	7	数字：慣用表現	
	8	1-7回の授業の確認	
	9	音のつながり：連結	
10	音のつながり：脱落		

	11	音のつながり：同化
	12	音のつながり：まとめ 3step小テスト
	13	発表
	14	GTELP
	15	9-13回の授業のまとめ
	16	定期試験
キーワード	リスニング、音読	
教科書・教材・参考書	大塚朝美『English Sound Box』金星堂 1950円(税別) *初回の授業時に教室で教科書販売があります。2回目以降の授業には必ずテキスト本体を入手して出席してください。	
成績評価の方法・基準等	定期試験40%、課題（ペアでの会話発表）10%、積極的な授業への参加状況10%、G-TELP20%、E-Learning20%(3StepCALL10%、PowerWords10%) 課外学習のE-Learningに関しては第1回目の授業の際に説明します。	
受講要件（履修条件）	3分の2以上の出席がなければ受験資格を失います(入院・出席停止の伝染病等を除き病欠も欠席扱いとします)。正当な理由で欠席する場合は、その証明となる書類を提出してください(コピー可)。	
備考 (URL)		
学生へのメッセージ	1度で完全に聞き取れる人はなかなかいないですから何度でも繰り返し聞いてください。1日10回、15回・それを2日、3日と続けて行くうちに、少しずつ英語の音が耳に入っていくようになります。最初は一つの単語、一つの母音・子音だけでも構わないので、聞き取れた音を書き取ってみてください。継続していけば、必ず書き取れる量が増えていきます。それで自分が聞き取れるようになっていっていることが確認できると思います。	



タイトル「2014年度シラバス（教養教育科目）」、開講所属「教養教育-教養教育 英語科目」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	金 3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590009034	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語Ⅰ(T9)		
編集担当教員	藤本 ゆかり		
授業担当教員名(科目責任者)	藤本 ゆかり		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	藤本 ゆかり		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-42		
対象学生(クラス等)	(T9)		
担当教員Eメールアドレス			
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL	095-819-2078(全学教育事務室)		
担当教員オフィスアワー	金曜日 2時30分より		
授業の概要及び位置づけ	世界中から発信された、最新の環境や健康に関するニュースを読み、興味深い内容の英文を通して、世界の環境や健康に対する関心を益々高め、知識を得、役立てる。フレーズ・リーディングという方法により、英語の理解度を高めると同時に、話す為・書く為の英文を作り上げる能力と技能を伸ばす。また、この方法を繰り返して練習することで、聴く力を養う。総合的な英語の技能を定着させ、さらに向上させる。英文法の復習を行い、英語の基礎及び応用力を身に付ける。また、英字新聞を読む自信をつける。		
授業到達目標	健康に対して関心を持ち、生活に役立てることができる。話したいことを組み立てるための基本的な能力を養うことができる。英文を英語で理解し(読む・聴く)、英語で考えて英語を使う(話す・書く)能力の基を養成することができる。発音の改善ができる。応用的な文法の運用ができるようになる。各自で目的を再認識し、英語の学習に対する意欲を持てるようになる。		
授業方法(学習指導法)	CDを用いながら、声に出して読む訓練を行い、話す能力へと発展させていく。発音の指導を行うので、積極的に活動に参加する。テキストに解答を書き込んで、理解を確かなものにする。読解の方法、及び文法事項を説明する。英語習得の方法を、資料等を用いて指導する。		
	リーディングの方法として、準備段階を踏んで、フレーズ・リーディングを中心に、様々なリーディングの活動(スキミング、スキニング、フレーズ・リーディング、リピーティング)を行う。CDを聴きながら、英文をフレーズごとにリピーティングする。リーディングについては、英文ニュース全体をスキミングとスキニングにより、内容の把握と理解をする。さらに、文法事項の復習を行い、TOEIC形式の文法問題を解く。本文の表現を用いて、英作文をする。(テキストに無記入の箇所が無いように書き込んでいく。)また、英語の習得の方法について、資料等を用いて指導を行う。 英文は英字新聞から選ばれてきたもので、フレーズ・リーディングを行うことで、教科書は特色あるものである。 毎回の授業には、必ず予習をして臨みましょう。英単語の意味を調べ、英作文を自分で考えておくこと。 また、聴く・話すという能力は、毎日欠かさず練習しなくては向上しないので、テキスト付録		

授業内容	のCDを用いて、自宅で予習と復習を必ず行ってください。自学が非常に重要な意味を持ちます。継続が大切であり、各自目標を定めて努力することを期待します。	
	回	内容
	1	4月11日 導入・授業内容の説明
	2	4月18日 Unit 1
	3	4月25日 Unit 2
	4	4月 2日 Unit 3
	5	5月 9日 Unit 4
	6	5月16日 Unit 5 3step小テスト①
	7	5月23日 Unit 6
	8	5月30日 Unit 7
	9	6月 6日 Unit 8
	10	6月13日 Unit 9
	11	6月20日 Unit 10
	12	6月27日 Unit 11 3step小テスト②
	13	7月 4日 G-TELPテスト・テストとまとめ
	14	7月11日 Unit 12
	15	7月18日 Unit 13
16	8月 1日 定期試験	
キーワード	リーディング／リスニング／英文法／英作文／英字新聞／世界の出来事・環境・健康	
教科書・教材・参考書	The World We Live In 「ニュースとエッセイで読む健康・自然・生命」 (小笠原真司 他：英宝堂) 英和辞典 (電子辞書) を必携すること。	
成績評価の方法・基準等	このクラスの成績評価は下記のとおりです。定期試験の成績を60%、共通テスト (G-TELPテスト) の結果を20%、課外学習のe-learning20% (3 Step CALL 10%、Power Words10%) を基準とします。 定期試験を筆記で行います。課外学習のe-learningに関しては第1回目の授業の際に説明します。 また、受講中の活動や態度を非常に重視しますので、注意しましょう。	
受講要件 (履修条件)	授業には、全回出席することを期待します。必ず予習をして臨みましょう。	
備考 (URL)		
学生へのメッセージ	授業には必ず予習をして臨んでください。英単語の意味をあらかじめ調べて文章の大意をつかみ、テキストの問題も解いておきます。	



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	火3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590009035	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語Ⅰ(G3)		
編集担当教員	廣江 顕		
授業担当教員名(科目責任者)	廣江 顕		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	廣江 顕		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養C棟]C-35(call1)		
対象学生（クラス等）	G3		
担当教員Eメールアドレス	ahiroe@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	言語教育研究センター廣江研究室（環境科学部1階）		
担当教員TEL	095-819-2378		
担当教員オフィスアワー	メールにより随時受け付ける		
授業の概要及び位置づけ	論理的に大意を素早く日本語でまとめる訓練を行い、かつ英語で要約を行える基礎固めを行う。		
授業到達目標	まとまった英文の大意をつかみながら、日本語と英語で要約ができるようになる。		
授業方法（学習指導法）	授業の前半では、リスニングテストを行い、その後、解答・解説を行う。後半では、プリント教材を用いてreadingに特化した、論理的に大意をつかむ訓練を行う。		
授業内容	回	内容	
	1	Introduction, sample listening test, e-learning教材の説明	
	2	Listening 1, プリント教材(1)	
	3	Listening 2, プリント教材(1)	
	4	Listening 3, プリント教材(2)	
	5	Listening 4, プリント教材(2)	
	6	3Step小テスト(1) (約30分程度), プリント教材(3)	
	7	Listening 5, プリント教材(3)	
	8	Listening 6, プリント教材(4)	
	9	Listening 7, プリント教材(4)	
	10	Listening 8, プリント教材(5)	
	11	Listening 9, プリント教材(5)	
	12	3Step小テスト(2), G-TELP対策演習	
	13	G-TELP	

	14	Listening 10, プリント教材の総復習
	15	まとめ
	16	定期試験
キーワード	reading, summary writing, listening	
教科書・教材・参考書	プリント教材, 参考書等は授業時に指示する	
成績評価の方法・基準等	リスニング(20%), 3Step CALL System(10%), Power Words(10%), G-TELP(20%), 定期試験(40%)	
受講要件 (履修条件)		
備考 (URL)		
学生へのメッセージ		



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	木 3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590009036	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語Ⅰ(M4)		
編集担当教員	廣江 顕		
授業担当教員名(科目責任者)	廣江 顕		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	廣江 顕		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養C棟]C-36(call2)		
対象学生（クラス等）	M4		
担当教員Eメールアドレス	ahiroe@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	言語教育研究センター廣江研究室（環境科学部1階）		
担当教員TEL	095-819-2378		
担当教員オフィスアワー	メールにより随時受け付ける		
授業の概要及び位置づけ	論理的に大意を素早く日本語でまとめる訓練を行う。		
授業到達目標	まとまった英文の大意をつかみながら、日本語と英語で要約ができるようになる。		
授業方法（学習指導法）	授業の前半では、リスニングテストを行い、その後、解答・解説を行う。後半では、テキストを用いてreadingに特化した、論理的に大意をつかむ訓練を行う。		
授業内容	回	内容	
	1	Introduction, sample listening test, e-learning教材の説明	
	2	Listening 1, テキストUnit1	
	3	Listening 2, テキストUnit2	
	4	Listening 3, テキストUnit3	
	5	Listening 4, テキストUnit4	
	6	3Step小テスト(1) (約30分程度), テキストUnit5	
	7	Listening 5, テキストUnit6	
	8	Listening 6, テキストUnit7	
	9	Listening 7, テキストUnit8	
	10	Listening 8, テキストUnit9	
	11	Listening 9, テキストUnit10	
	12	3Step小テスト(2), G-TELP対策演習	
	13	G-TELP	
14	Listening 10, テキストUnit11		

	15	まとめ、テキストUnit12
	16	定期試験
キーワード	rapid reading, listening, e-learning materials	
教科書・教材・参考書	『ニュースとエッセイで読む健康、自然、生命』、英宝社、1800円（税別）	
成績評価の方法・基準等	リスニング(20%), 3Step CALL System(10%), Power Words(10%), G-TELP(20%), 定期試験(40%)	
受講要件（履修条件）		
備考（URL）		
学生へのメッセージ		





タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	木 4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590009037	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語Ⅰ(T3)		
編集担当教員	廣江 顕		
授業担当教員名(科目責任者)	廣江 顕		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	廣江 顕		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養C棟]C-36(call2)		
対象学生（クラス等）	T3		
担当教員Eメールアドレス	ahiroe@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	言語教育研究センター廣江研究室（環境科学部1階）		
担当教員TEL	095-819-2378		
担当教員オフィスアワー	メールにより随時受け付ける		
授業の概要及び位置づけ	論理的に大意を素早く日本語でまとめる訓練を行う。		
授業到達目標	まとまった英文の大意をつかみながら、日本語と英語で要約ができるようになる。		
授業方法（学習指導法）	授業の前半では、リスニングテストを行い、その後、解答・解説を行う。後半では、テキストを用いてreadingに特化した、論理的に大意をつかむ訓練を行う。		
授業内容	回	内容	
	1	Introduction, sample listening test, e-learning教材の説明	
	2	Listening 1, テキストUnit1	
	3	Listening 2, テキストUnit2	
	4	Listening 3, テキストUnit3	
	5	Listening 4, テキストUnit4	
	6	3Step小テスト(1) (約30分程度), テキストUnit5	
	7	Listening 5, テキストUnit6	
	8	Listening 6, テキストUnit7	
	9	Listening 7, テキストUnit8	
	10	Listening 8, テキストUnit9	
	11	Listening 9, テキストUnit10	
	12	3Step小テスト(2), G-TELP対策演習	
	13	G-TELP	
14	Listening 10, テキストUnit11		

	15	まとめ、テキストUnit12
	16	定期試験
キーワード	rapid reading, listening, e-learning materials	
教科書・教材・参考書	『ニュースとエッセイで読む健康、自然、生命』、英宝社、1800円（税別）	
成績評価の方法・基準等	リスニング(20%), 3Step CALL System(10%), Power Words(10%), G-TELP(20%), 定期試験(40%)	
受講要件（履修条件）		
備考（URL）		
学生へのメッセージ		



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	金 3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590009038	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語Ⅰ(D1・D2)		
編集担当教員	廣江 顕		
授業担当教員名(科目責任者)	廣江 顕		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	廣江 顕		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養C棟]C-36(call2)		
対象学生(クラス等)	D1・D2		
担当教員Eメールアドレス	ahiroe@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	言語教育研究センター廣江研究室(環境科学部1階)		
担当教員TEL	095-819-2378		
担当教員オフィスアワー	メールにより随時受け付ける		
授業の概要及び位置づけ	論理的に大意を素早く日本語でまとめる訓練を行い、かつ英語で要約を行える基礎固めを行う。		
授業到達目標	まとまった英文の大意をつかみながら、日本語と英語で要約ができるようになる。		
授業方法(学習指導法)	授業の前半では、リスニングテストを行い、その後、解答・解説を行う。後半では、プリント教材を用いてreadingに特化した、論理的に大意をつかむ訓練を行う。		
授業内容	回	内容	
	1	Introduction, sample listening test, e-learning教材の説明	
	2	Listening 1, テキストUnit1	
	3	Listening 2, テキストUnit2	
	4	Listening 3, テキストUnit3	
	5	Listening 4, テキストUnit4	
	6	3Step小テスト(1)(約30分程度), テキストUnit5	
	7	Listening 5, テキストUnit6	
	8	Listening 6, テキストUnit7	
	9	Listening 7, テキストUnit8	
	10	Listening 8, テキストUnit9	
	11	Listening 9, テキストUnit10	
	12	3Step小テスト(2), G-TELP対策演習	
13	G-TELP		

	14	Listening 10, テキストUnit11
	15	まとめ
	16	定期試験
キーワード	reading, summary writing, listening	
教科書・教材・参考書	『ニュースとエッセイで読む健康・自然・生命』、小笠原・他、英宝社、1,800円（税別）	
成績評価の方法・基準等	リスニング(20%), 3Step CALL System(10%), Power Words(10%), G-TELP(20%), 定期試験(40%)	
受講要件（履修条件）		
備考（URL）		
学生へのメッセージ		



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	金 4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590009039	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語Ⅰ(K1)		
編集担当教員	廣江 顕		
授業担当教員名(科目責任者)	廣江 顕		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	廣江 顕		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養C棟]C-36(call2)		
対象学生（クラス等）	K1		
担当教員Eメールアドレス	ahiroe@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	言語教育研究センター廣江研究室（環境科学部1階）		
担当教員TEL	095-819-2378		
担当教員オフィスアワー	メールにより随時受け付ける		
授業の概要及び位置づけ	論理的に大意を素早く日本語でまとめる訓練を行う。		
授業到達目標	まとまった英文の大意をつかみながら、日本語と英語で要約ができるようになる。		
授業方法（学習指導法）	授業の前半では、リスニングテストを行い、その後、解答・解説を行う。後半では、テキストを用いてreadingに特化した、論理的に大意をつかむ訓練を行う。		
授業内容	回	内容	
	1	Introduction, sample listening test, e-learning教材の説明	
	2	Listening 1, テキストUnit1	
	3	Listening 2, テキストUnit2	
	4	Listening 3, テキストUnit3	
	5	Listening 4, テキストUnit4	
	6	3Step小テスト(1) (約30分程度), テキストUnit5	
	7	Listening 5, テキストUnit6	
	8	Listening 6, テキストUnit7	
	9	Listening 7, テキストUnit8	
	10	Listening 8, テキストUnit9	
	11	Listening 9, テキストUnit10	
	12	3Step小テスト(2), G-TELP対策演習	
	13	G-TELP	
14	Listening 10, テキストUnit11		

	15	まとめ、テキストUnit12
	16	定期試験
キーワード	rapid reading, listening, e-learning materials	
教科書・教材・参考書	『ニュースとエッセイで読む健康、自然、生命』、英宝社、1800円（税別）	
成績評価の方法・基準等	リスニング(20%), 3Step CALL System(10%), Power Words(10%), G-TELP(20%), 定期試験(40%)	
受講要件（履修条件）		
備考（URL）		
学生へのメッセージ		





タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	金 3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590009040	科目番号	05900090
授業科目名	●総合英語Ⅰ(T10)		
編集担当教員	濱崎 大		
授業担当教員名(科目責任者)	濱崎 大		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	濱崎 大		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-32		
対象学生（クラス等）	T10		
担当教員Eメールアドレス	mohican007@hotmail.com 欠席報告は後日、届けを提出してください。		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL	単位に関するお問い合わせは、事務を通して行ってください。		
担当教員オフィスアワー	非常勤講師室在中可 月・金 昼休み		
授業の概要及び位置づけ	大学の勉強に必要な構文をより多く学ぶ機会を増やし、パターンで覚えるのではなく、その場の状況を判断しながら日本語訳、英語訳に向かう対応力、判断力、そして応用力をつけていきます。辞書に安易に頼るのではなく、日本語・英語の相違点の認識や文脈に頼りながら解決する読解力もつけていきます。		
授業到達目標	日本語とは語順の違う英語を、より早く、より自然に日本語訳できるように、つまり“理解”できるようにになります。		
授業方法（学習指導法）	できるだけ受講生に回答の機会を与えて、日本語とは違う英語を自然に理解できるように講義を進めていきます。 受講生は受動的な姿勢ではなく、自発的で積極的な姿勢が必要です。		
授業内容	授業内容（概要）：Unitの内容にそって、受講生に発言の機会を出来るだけ多く設けて進めていきます。 テーマは健康問題について多く取り上げられているTextですが、Phrase Reading、Skimming-Scanning、Listening、意識の仕方、また、多種多様な単語、会話表現など、大学生に必要なSkillをTextで習得します。Listeningにおいては、大学側が提供しているPowerWordsや3stepを日常の取り組みにします。		
	回	内容	
	1	第1回 Introduction	
	2	第2回 Unit 1 Singapore's Love Potion Heads to Markets Overseas	
	3	第3回 Unit 2 Bird Flu May Have Passed Between Siblings	
	4	第4回 Unit 3 Foreign Staff Get OK for Emergency Training	
	5	第5回 Unit 4 Study: Two Languages Help to Keep the Mind Young	
6	第6回 Unit 5 Experts Will Feed Infected Brains to Cows 3step小テスト		

	7	第7回 Unit 6 New Alcohol-Flavored Biscuits Not to Everyone's Taste
	8	第8回 Unit 7 Study: Tea Drinking May Protect Against Alzheimer's Disease
	9	第9回 Unit 8 Study: Melatonin May Help Lower High Blood Pressure
	10	第10回 Unit 9 Fat Kids Singled Out for Extra Exercise
	11	第11回 Unit 10 Study: Air Worse in Smoky Bars Than on Truck-choked Roads
	12	第12回 Unit 11 Researchers: Church Candles and Incense Pose Health Risks 3step 小テスト
	13	第13回 G-TELP
	14	第14回 Unit 12 Fitness: How Much Water Is Enough Curing Exercise?
	15	第15回 Unit 13 Woman Listed as World's Oldest Person Dies in Puerto Rico at 114
	16	第16回 Final Examination
キーワード	スキミング、スキヤニング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、リピーティング	
教科書・教材・参考書	Reading from Health and Nutrition News 金星堂 各自持っている参考書、辞書（英和、和英）	
成績評価の方法・基準等	Class Attendance and Participation: 15% G-TELPテスト 20% 課外学習のe-learning 20% (3 Step CALL 10%、PowerWords10%) 課外学習のe-learningに関しては第1回目の授業の際に説明します。 Final Examination 45%	
受講要件（履修条件）	全講義出席が原則。ただし、正当な理由で欠席する場合は個人指導を行う。（課外クラブ活動に関しては正当な理由とは認められません。）講義、演習の妨害行為は大人のモラルをもって自重してください。（スマートフォンの操作等）目に余る場合は、退室及び辞退を申し入れます。	
備考（URL）		
学生へのメッセージ	G-TELPテスト詳細は担当教員により授業時に説明が行われます。また、掲示にもよく注意しておいてください。	

